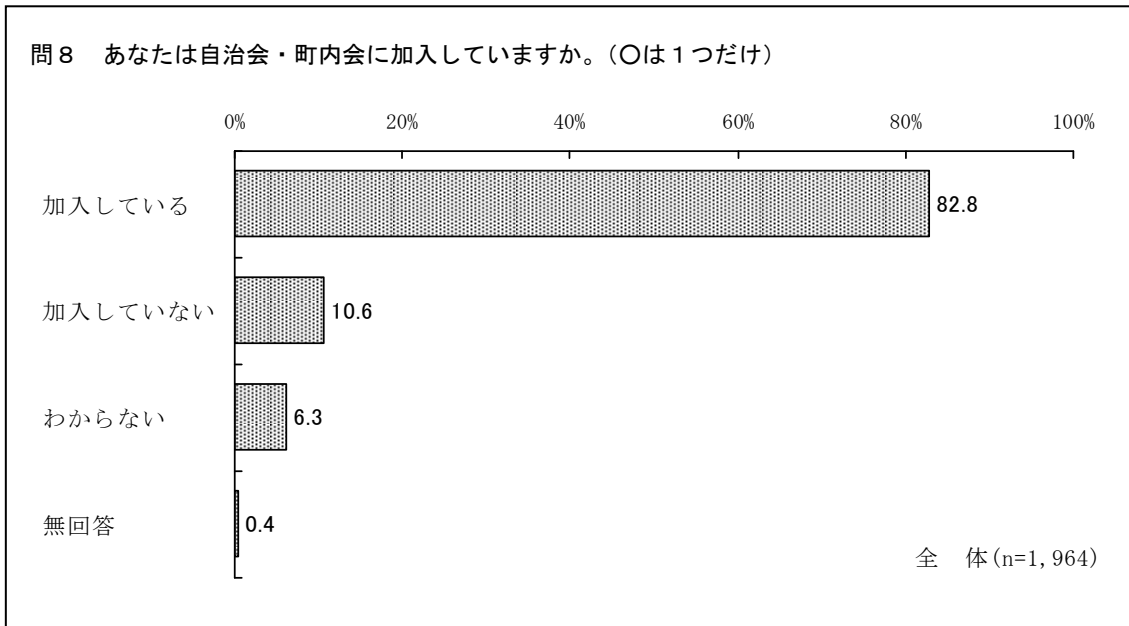


Ⅱ 調 査 結 果

1. 新潟市のコミュニティについて

(1) 自治会・町内会の加入状況



8割以上が自治会・町内会に「加入している」

【全体結果】

自治会・町内会の加入状況については、「加入している」(82.8%)の割合が8割を超えている。「加入していない」(10.6%)が約1割、「わからない」(6.3%)が1割弱となっている。

【属性別結果】(図 1-1 参照)

①地区別

西蒲区を除いた地区で「加入している」の割合が8割を超えているが、西蒲区(71.3%)では7割強と他の地区に比べ低くなっている。

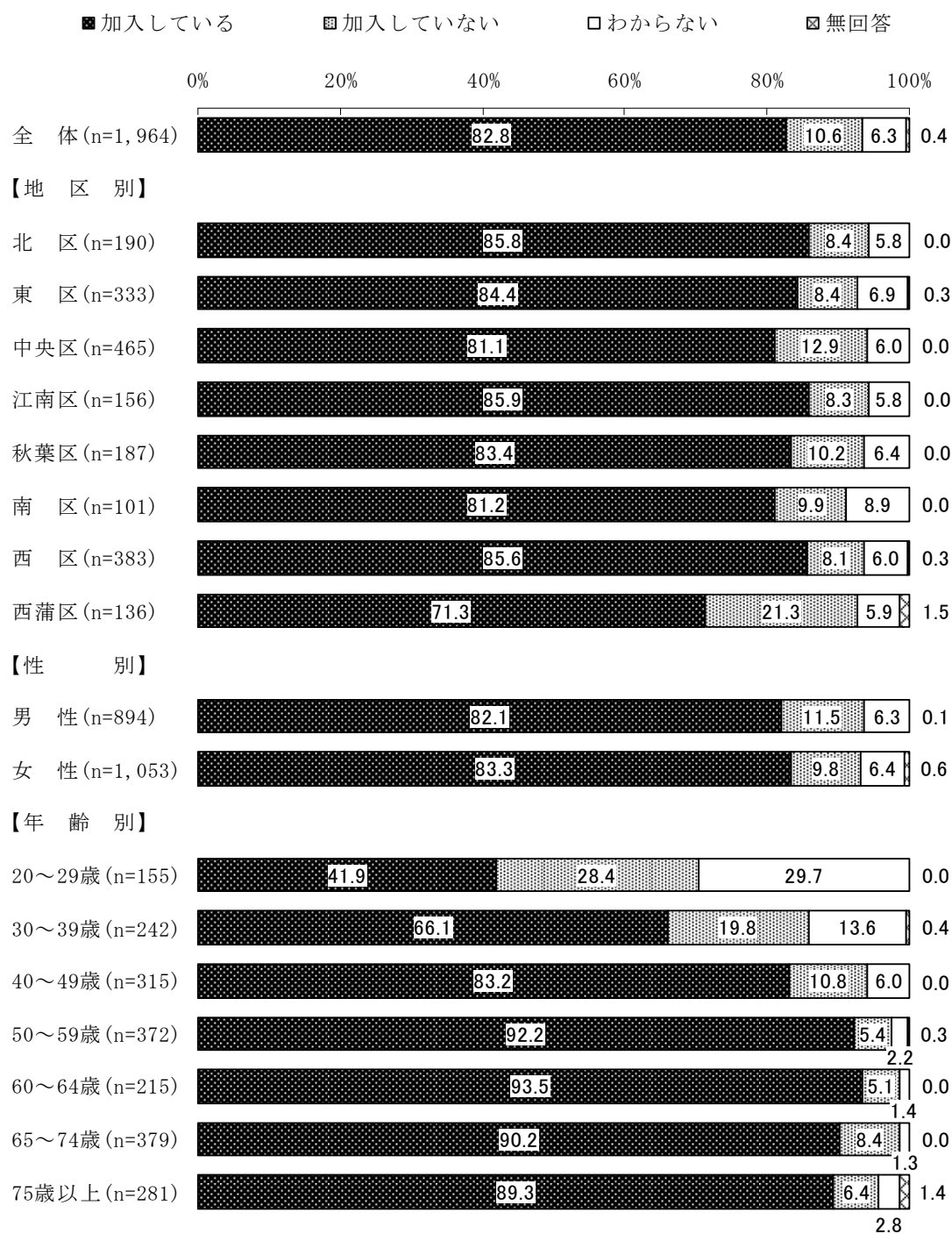
②性別

性別では、大きな男女差はみられない。

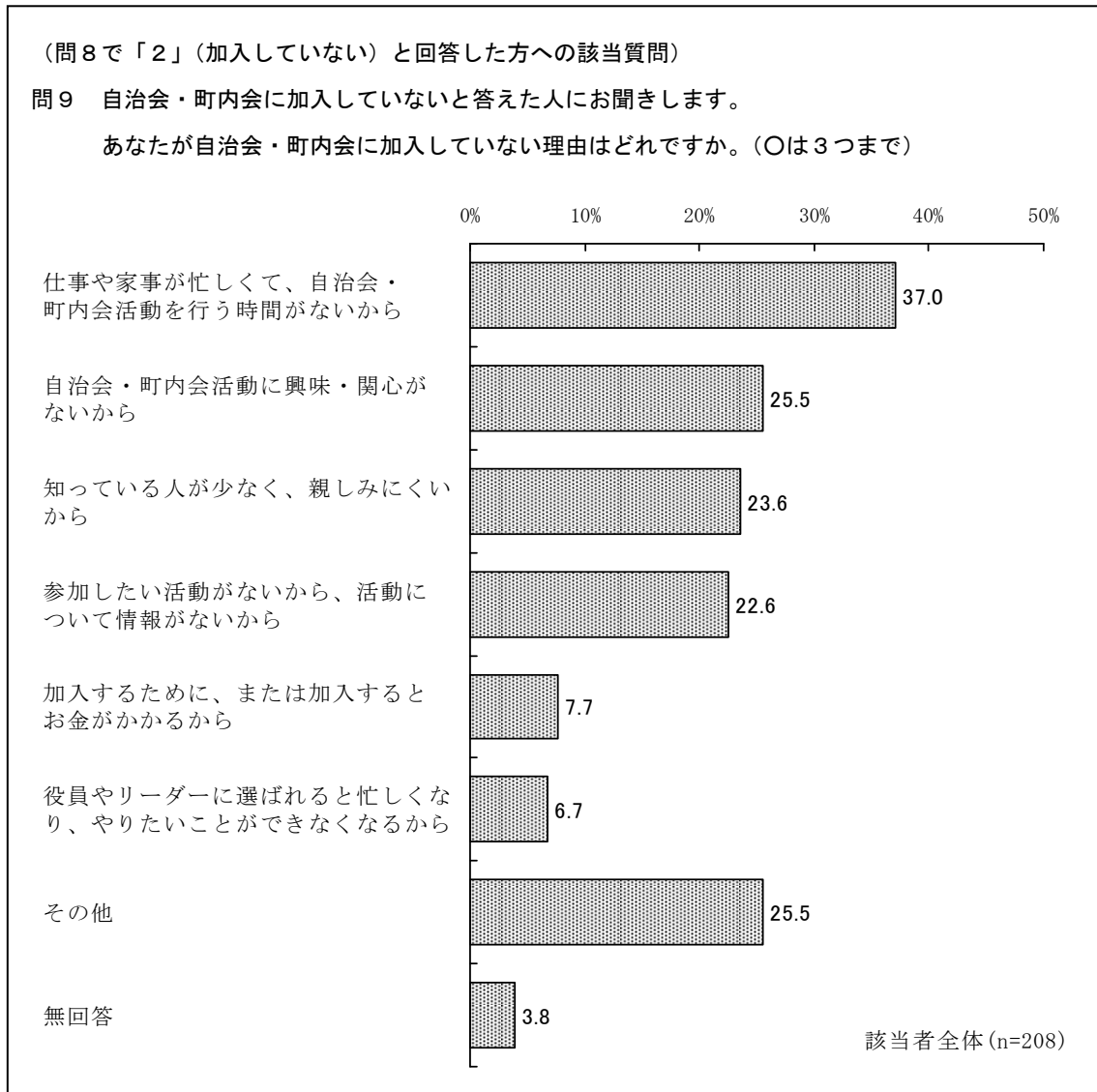
③年齢別

「加入している」の割合は、50代以上で高く、20代(41.9%)が最も低くなっている。

図1-1 自治会・町内会の加入状況（地区別／性別／年齢別）



(2) 自治会・町内会に加入していない理由



—— 加入していない理由は「活動する時間がないから」が最も多い ——

問8で、自治会・町内会に「加入していない」と回答した208人に対する質問である。

【全体結果】

自治会・町内会に加入していない理由(複数回答)については、「仕事や家事が忙しくて、自治会・町内会活動を行う時間がないから」(37.0%)の割合が最も高くなっている。以下、「自治会・町内会活動に興味・関心がないから」(25.5%)、「知っている人が少なく、親しみにくいから」(23.6%)、「参加したい活動がないから、活動について情報がないから」(22.6%)の順で続いている。

【属性別結果】（図 1-2 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「仕事や家事が忙しくて、自治会・町内会活動を行う時間がないから」については、東区（50.0%）の割合が最も高く、秋葉区（31.6%）の割合が最も低くなっている。

「自治会・町内会活動に興味・関心がないから」の割合は南区（50.0%）、「知っている人が少なく、親しみにくいから」の割合は江南区（46.2%）で高くなっている。

②性別

「知っている人が少なく、親しみにくいから」の割合は、男性（28.2%）の方が女性（19.4%）よりも高くなっている。

③年齢別

「仕事や家事が忙しくて、自治会・町内会活動を行う時間がないから」の割合は、65歳以上では低くなっている。

「自治会・町内会活動に興味・関心がないから」の割合は、65～74歳（34.4%）と30代（31.3%）で高く、「知っている人が少なく、親しみにくいから」の割合は、65～74歳（31.3%）50代（30.0%）で高くなっている。

図 1-2 自治会・町内会に加入していない理由（地区別／性別／年齢別） 1/2

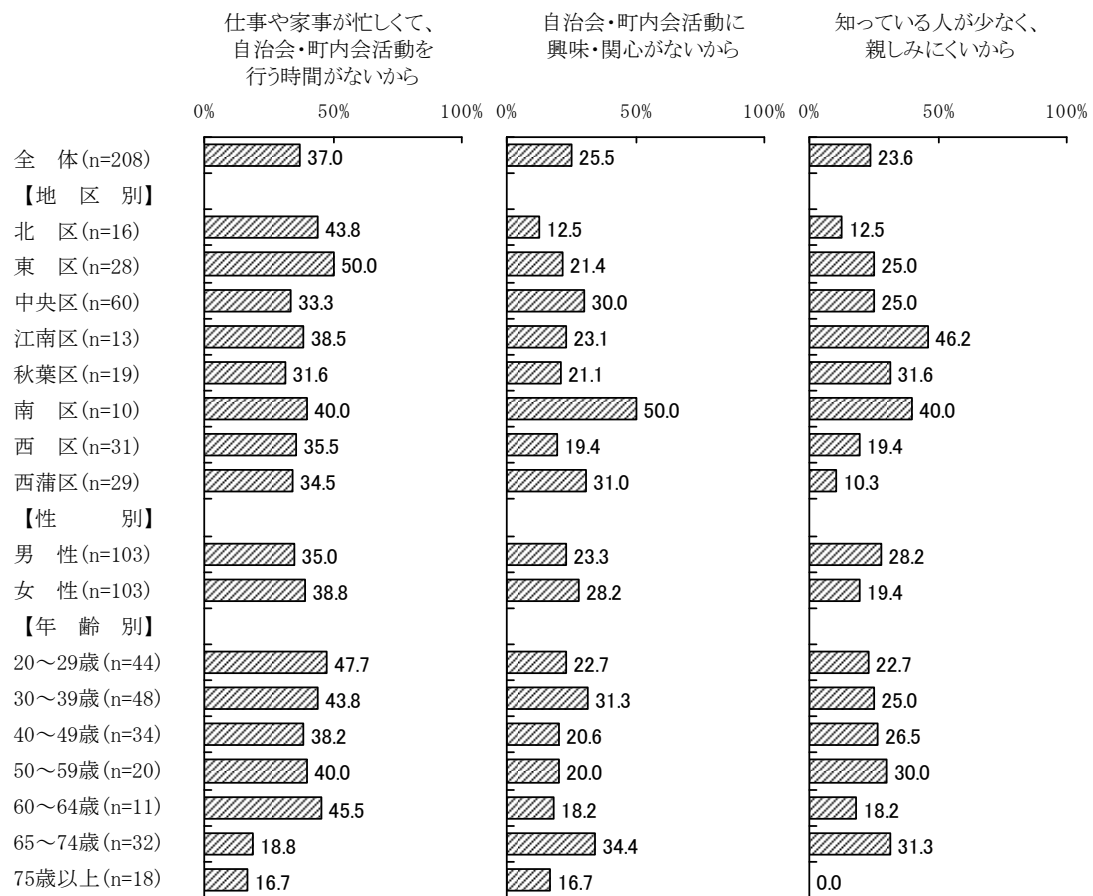
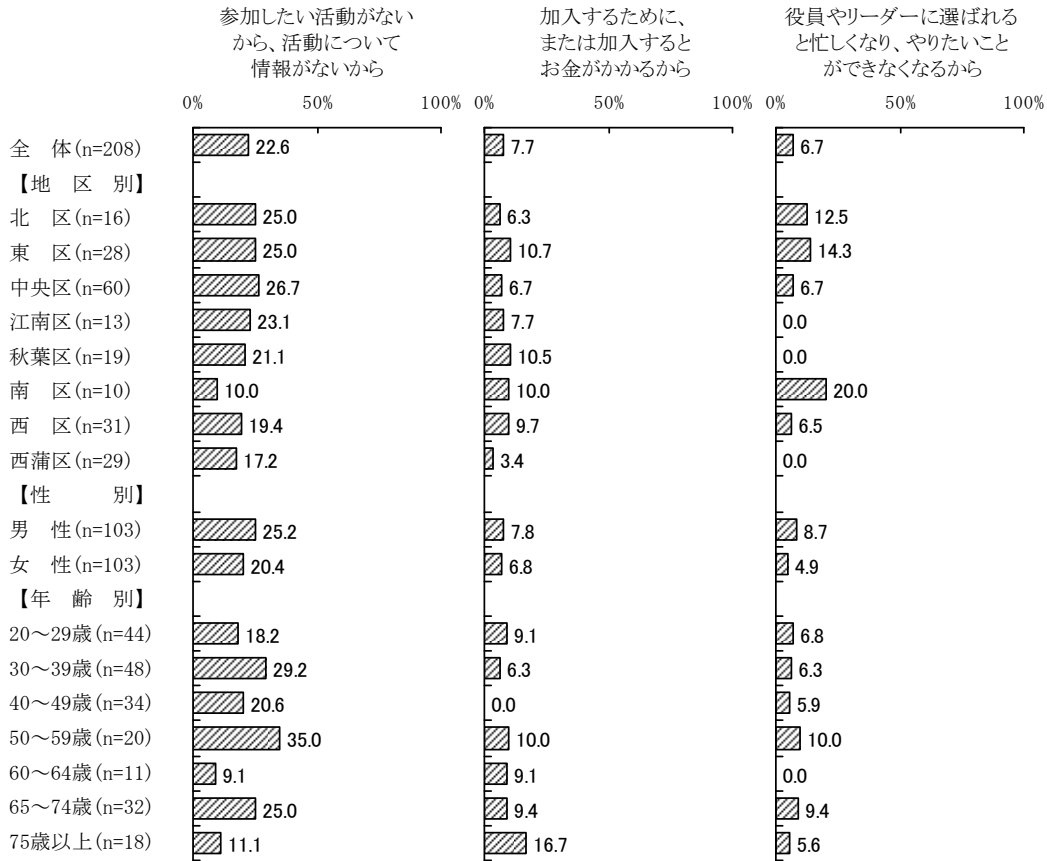
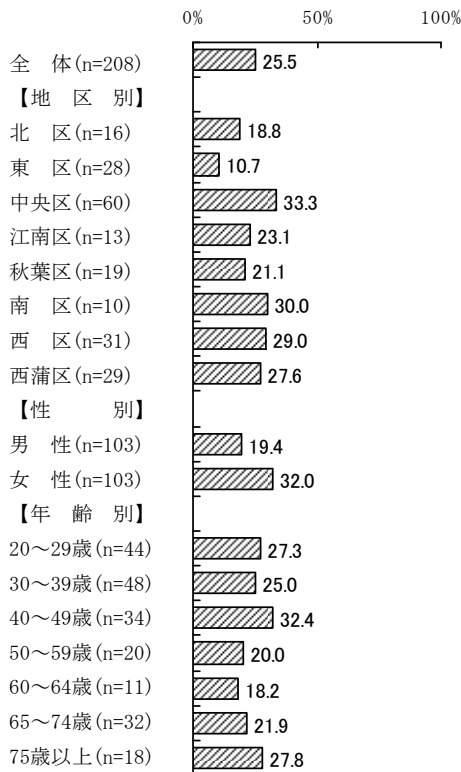


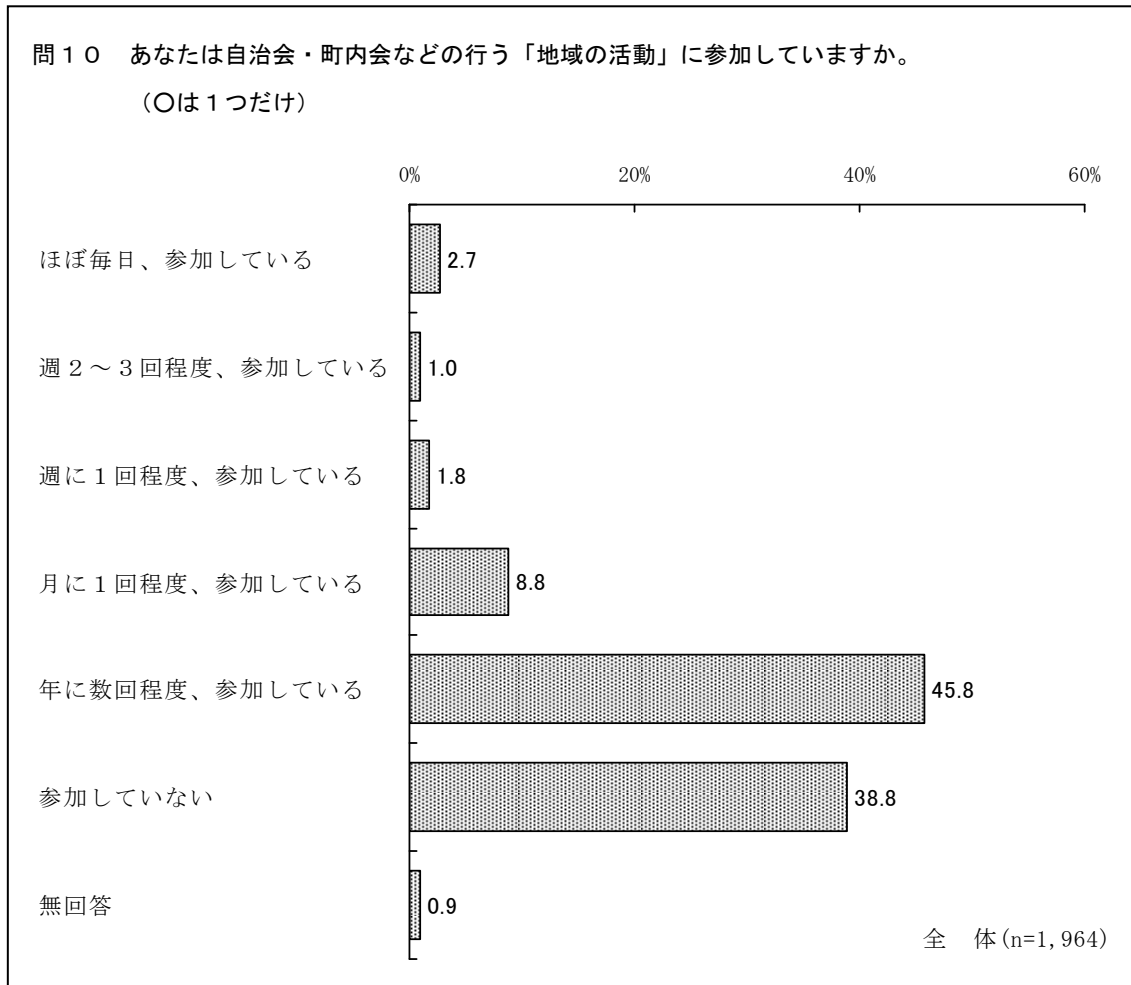
図1-2 自治会・町内会に加入していない理由（地区別／性別／年齢別） 2/2



その他



(3) 「地域の活動」への参加状況



5割弱が「年に数回程度」地域の活動に参加

【全体結果】

「地域の活動」への参加状況については、「年に数回程度、参加している」(45.8%)の割合が最も高くなっている。次いで、割合はかなり低下するが、「月に1回程度、参加している」(8.8%)が1割弱で続いている。

一方で、「参加していない」は38.8%である。

【属性別結果】（図 1-3 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「年に数回程度、参加している」については、南区（58.4%）の割合が最も高く、中央区（33.1%）が最も低くなっている。中央区では、「参加していない」の割合が、5割を超えている。

②性別

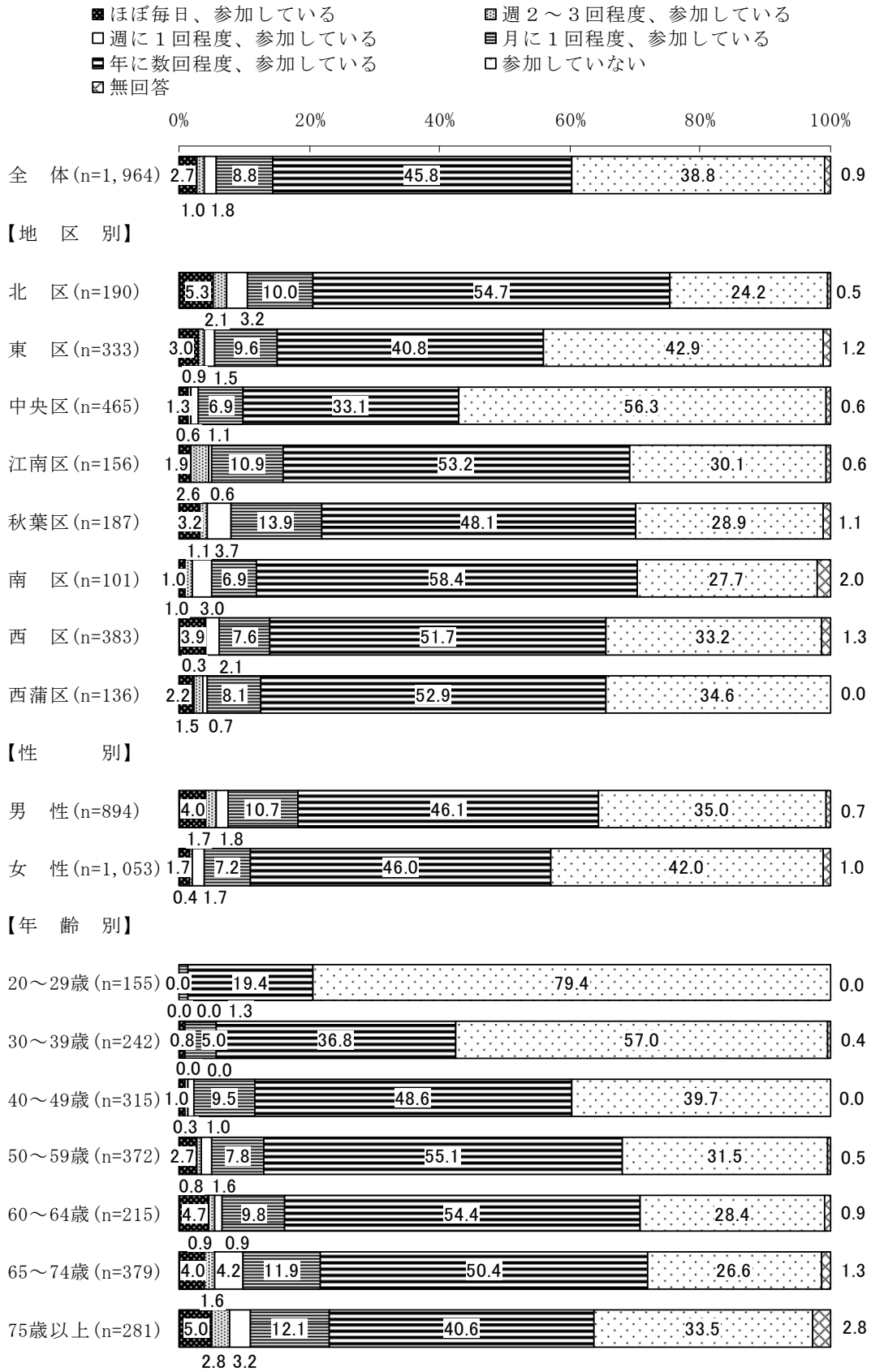
「参加していない」の割合は、女性（42.0%）の方が男性（35.0%）よりも高くなっている。

③年齢別

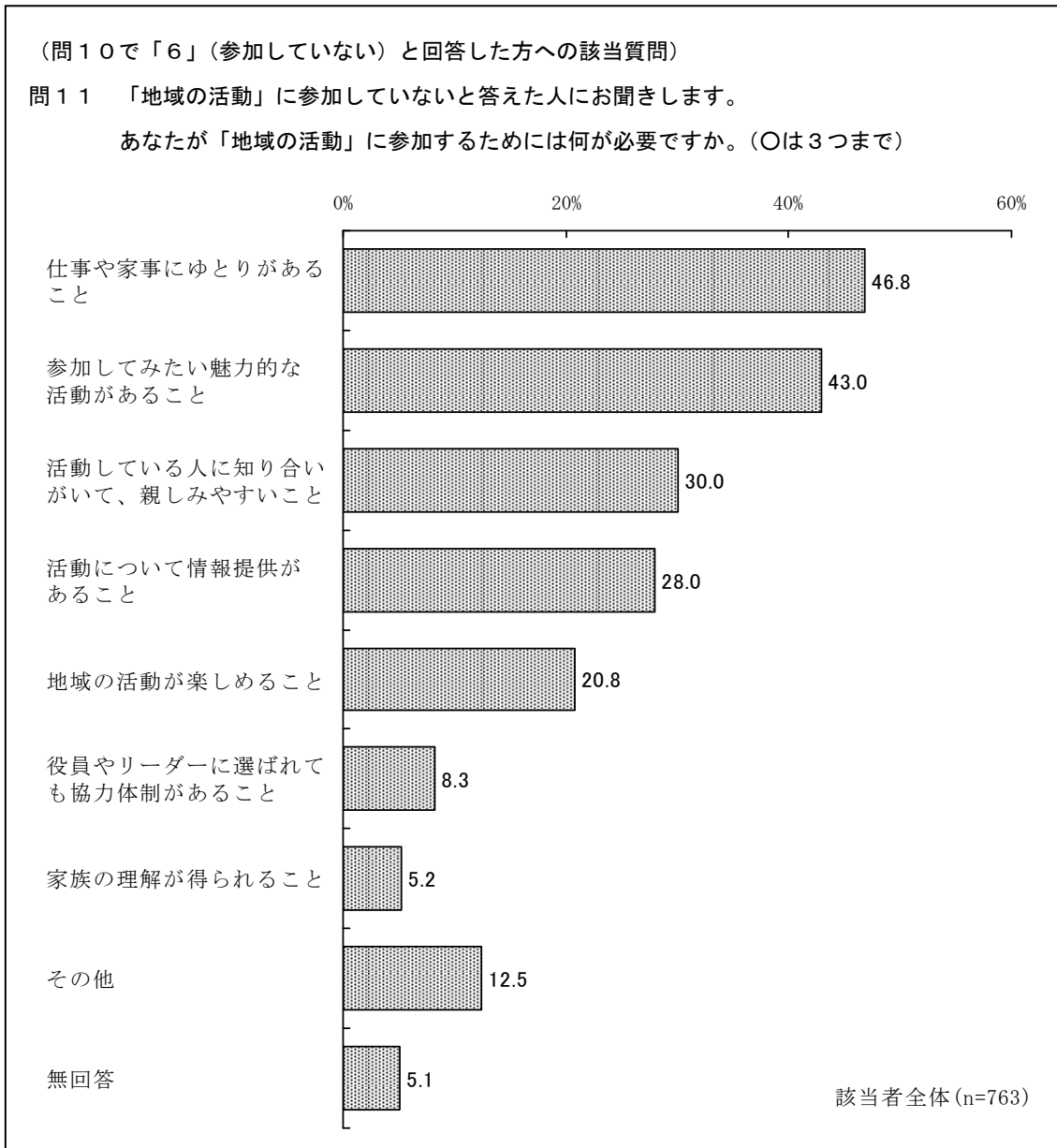
「年に数回程度、参加している」の割合は、50代（55.1%）、60～64歳（54.4%）で高く、20代（19.4%）で低くなっている。

一方、「参加していない」の割合は、20代（79.4%）が高く、約8割となっている。また、「参加していない」は、74歳までは、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。

図1-3 「地域の活動」への参加状況（地区別／性別／年齢別）



(4) 「地域の活動」に参加するための条件



参加条件は「仕事や家事にゆとりがあること」

問10で、「地域の活動」に「参加していない」と回答した763人に対する質問である。

【全体結果】

「地域の活動」に参加するための条件(複数回答)については、「仕事や家事にゆとりがあること」(46.8%)が最も高くなっている。以下、「参加してみたい魅力的な活動があること」(43.0%)、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」(30.0%)、「活動について情報提供があること」(28.0%)、「地域の活動が楽しめること」(20.8%)の順で続いている。

【属性別結果】（図 1-4 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「仕事や家事にゆとりがあること」については、南区（57.1%）、江南区（55.3%）、北区（54.3%）が高く5割を超えている。

「参加してみたい魅力的な活動があること」は西区（52.8%）で、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」は北区（47.8%）で、最も割合が高くなっている。

②性別

「仕事や家事にゆとりがあること」と「地域の活動が楽しめること」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

③年齢別

「仕事や家事にゆとりがあること」は、30代以上では、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。「参加してみたい魅力的な活動があること」と「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」の割合は、20代が最も高く、75歳以上が最も低くなっている。

図 1-4 「地域の活動」に参加するための条件（地区別／性別／年齢別） 1/2

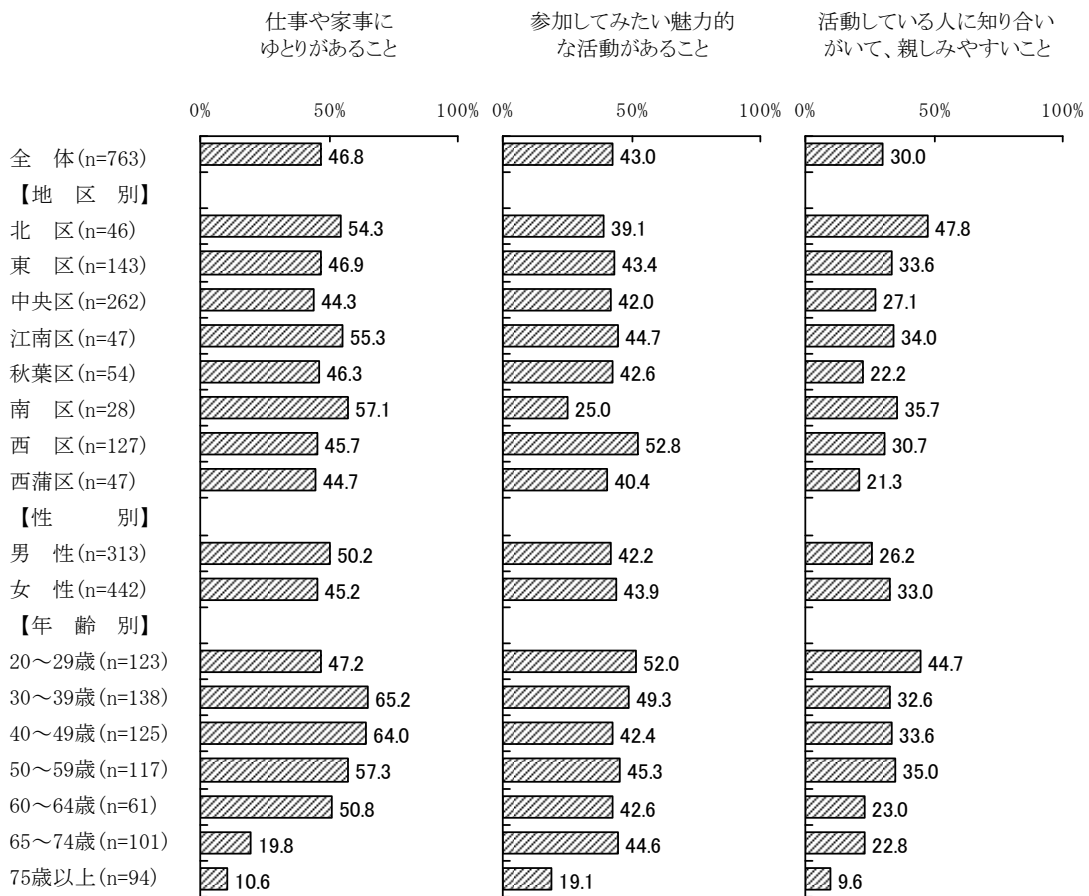
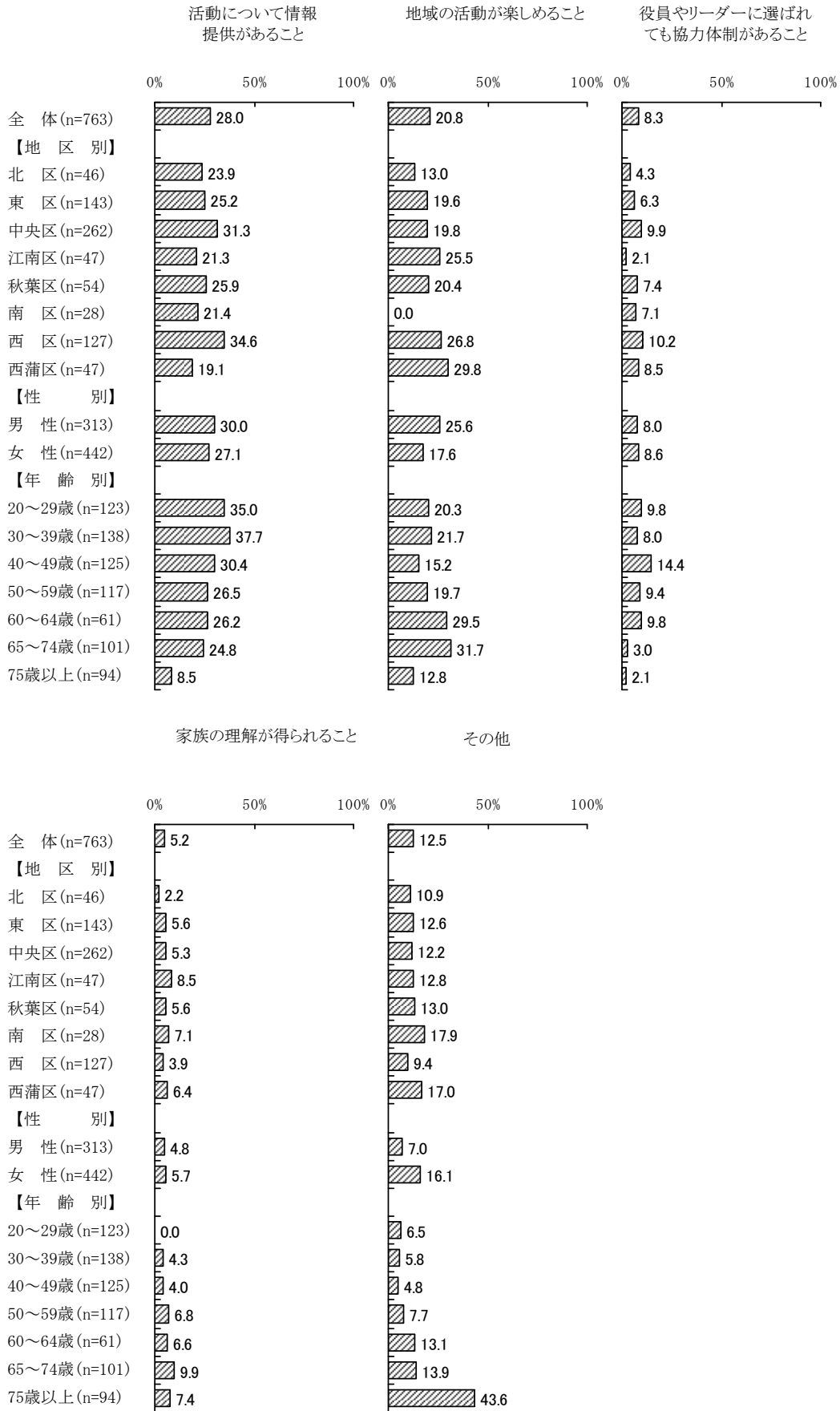
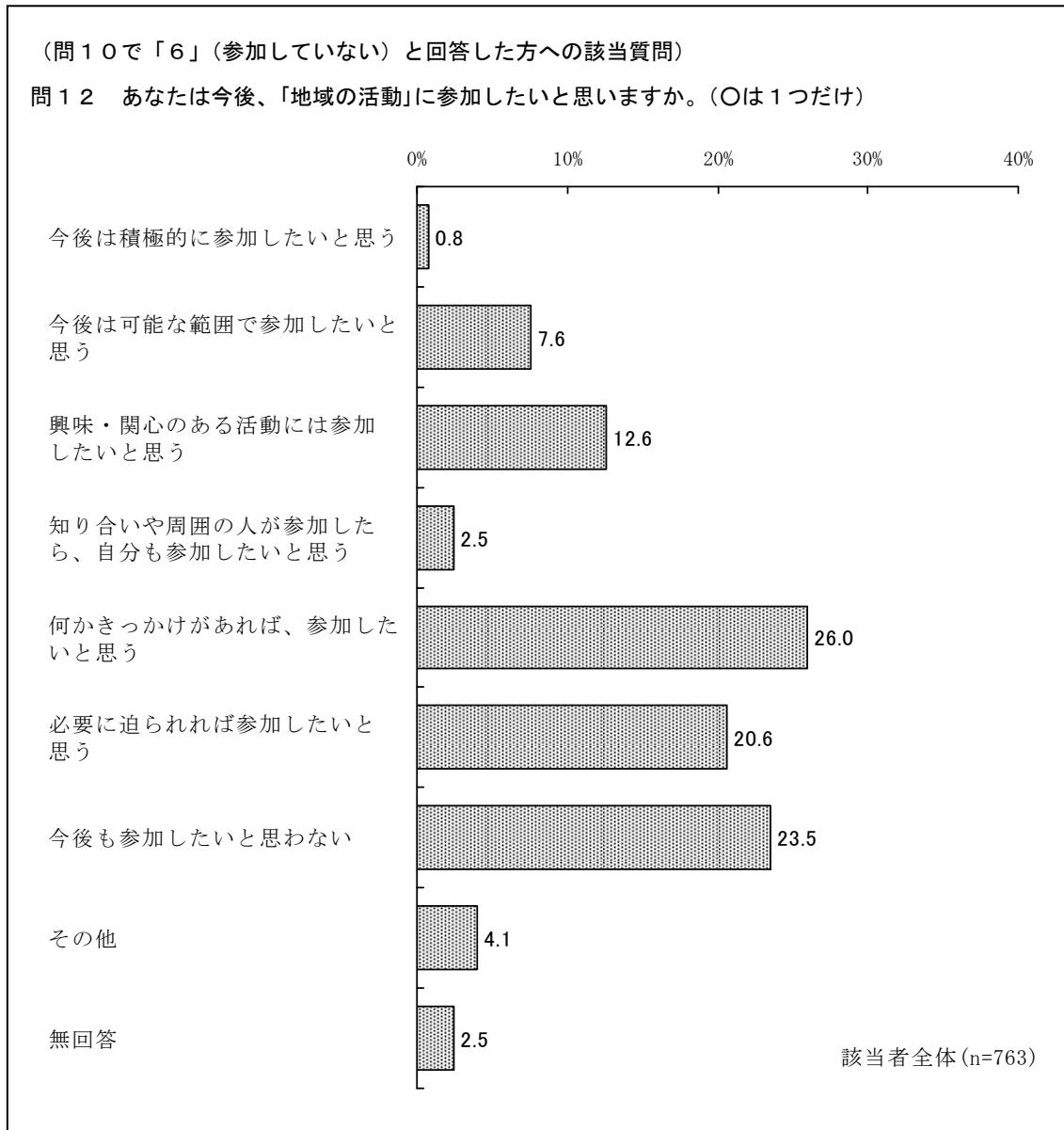


図1-4 「地域の活動」に参加するための条件（地区別／性別／年齢別） 2/2



(5) 今後の「地域の活動」への参加意向



「きっかけがあれば参加したい」が3割弱

問10で、「地域の活動」に「参加していない」と回答した763人に対する質問である。

【全体結果】

今後の「地域の活動」への参加意向については、「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」(26.0%)の割合が最も高く、次いで、「必要に迫られれば参加したいと思う」(20.6%)となっている。また、程度に差はあるが参加の意思がある人を合わせた『参加したいと思う』は70.0%で、7割となっている。

一方で、「今後も参加したいと思わない」は23.5%である。

【属性別結果】（図 1-5 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」については、北区（34.8%）の割合が最も高くなっている。

「興味・関心のある活動には参加したいと思う」の割合は東区（18.9%）で、「今後は可能な範囲で参加したいと思う」の割合は南区（17.9%）で高くなっている。

②性別

性別では、大きな男女差はみられない。

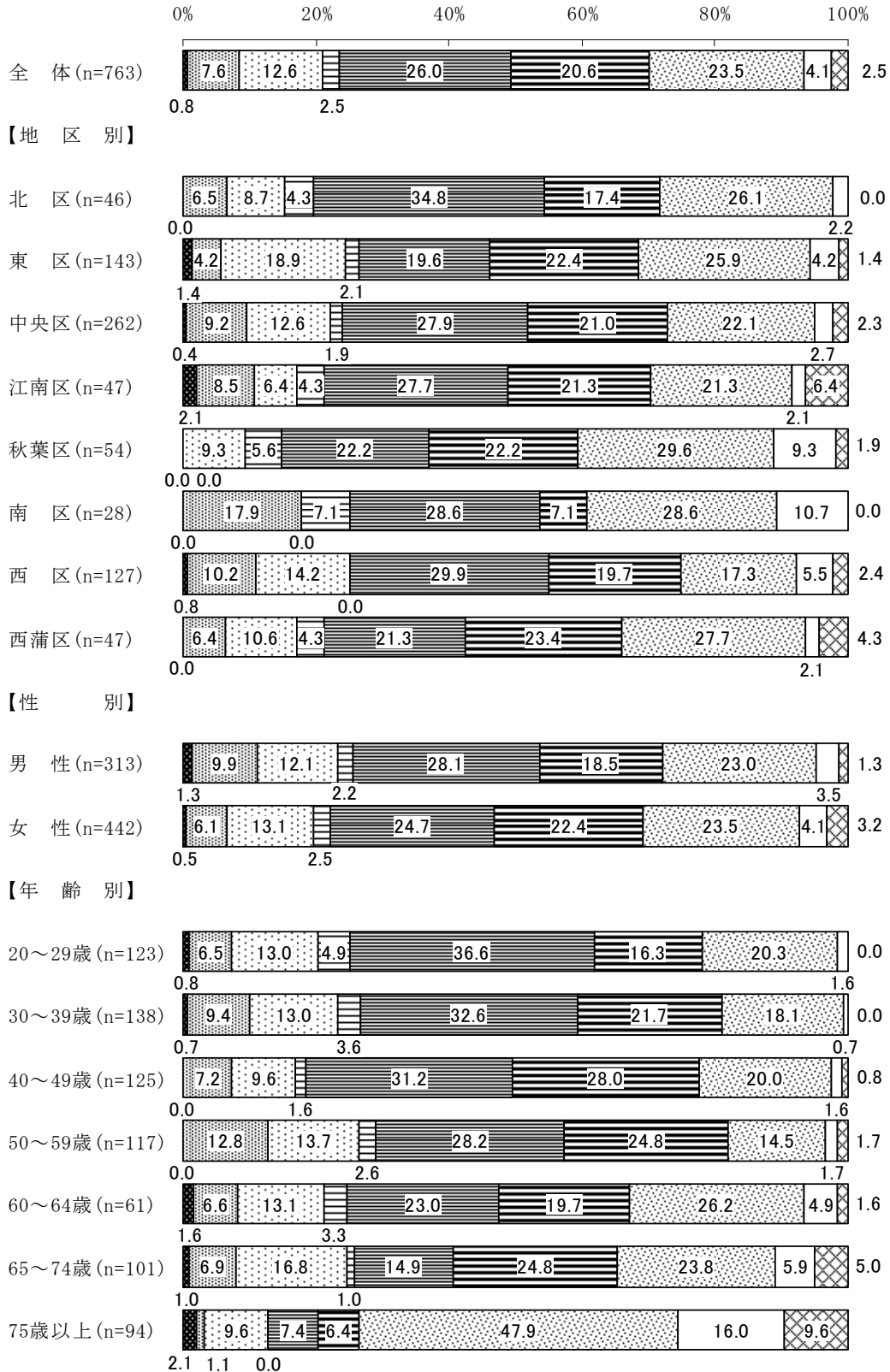
③年齢別

「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」の割合は、20代（36.6%）が最も高く、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。

「今後も参加したいと思わない」の割合は、75歳以上（47.9%）が最も高く、5割弱となっている。

図1-5 今後の「地域の活動」への参加意向（地区別／性別／年齢別）

- 今後は積極的に参加したいと思う
- 興味・関心のある活動には参加したいと思う
- ▨ 知り合いや周囲の人が参加したら、自分も参加したいと思う
- ▩ 必要に迫られれば参加したいと思う
- ▧ 今後も参加したいと思わない
- その他
- ▨ 今後は可能な範囲で参加したいと思う
- ▩ 何かきっかけがあれば、参加したいと思う
- ▧ 無回答



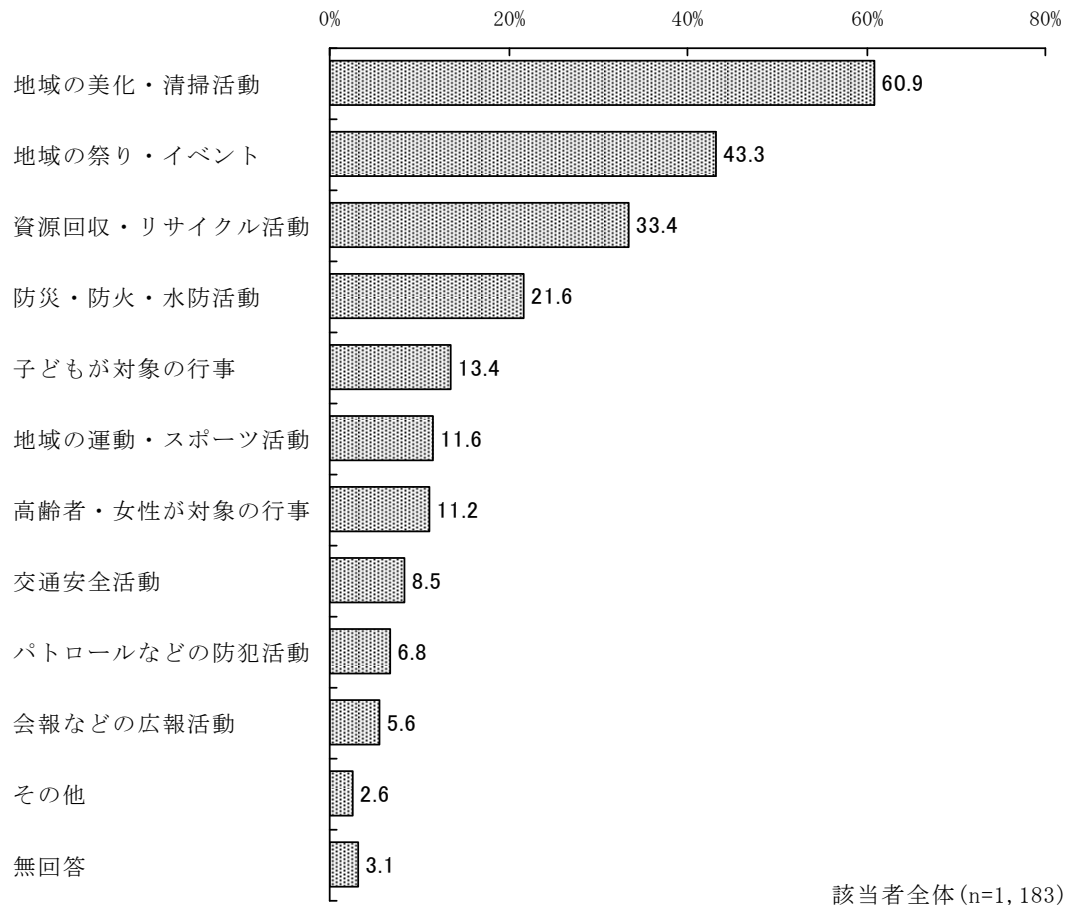
(6) 現在参加、または今後参加したい「地域の活動」

(問10で「1」「2」「3」「4」「5」(参加している)と回答した方への該当質問)

問13 「地域の活動」に参加していると答えた人にお聞きます。

あなたはどのような活動に参加していますか、または参加したいですか。

(〇はいくつでも)



6割が「地域の美化・清掃活動」に参加、または参加希望

問10で、「地域の活動」に「参加している」と回答した1,183人に対する質問である。

【全体結果】

現在も参加、または今後参加したい「地域の活動」(複数回答)については、「地域の美化・清掃活動」(60.9%)が最も高くなっている。以下、「地域の祭り・イベント」(43.3%)が4割台、「資源回収・リサイクル活動」(33.4%)が3割台、「防災・防火・水防活動」(21.6%)が2割台で続いている。

【属性別結果】（図 1-6 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域の美化・清掃活動」については、江南区（70.4%）の割合が最も高く、中央区（48.5%）が最も低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、秋葉区（58.0%）が最も高く、中央区（29.0%）が最も低くなっている。「資源回収・リサイクル活動」の割合は、北区と中央区（各 42.0%）が最も高く、秋葉区（22.9%）が最も低くなっている。

②性別

「地域の美化・清掃活動」と「防災・防火・水防活動」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「資源回収・リサイクル活動」と「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

③年齢別

「地域の美化・清掃活動」の割合は、50代（66.0%）が最も高く、20代（53.1%）と75歳以上（53.6%）が低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、20代（53.1%）が最も高く、年齢が上がるにつれて、割合が低くなる傾向がみられる。

「資源回収・リサイクル活動」の割合は、60～64歳（41.4%）が最も高く、20代（21.9%）が最も低くなっている。

「子どもが対象の行事」の割合は、30代（43.7%）と40代（33.7%）が高く、「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、75歳以上（36.3%）が高くなっている。

図1-6 現在参加、または今後参加したい「地域の活動」(地区別/性別/年齢別) 1/2

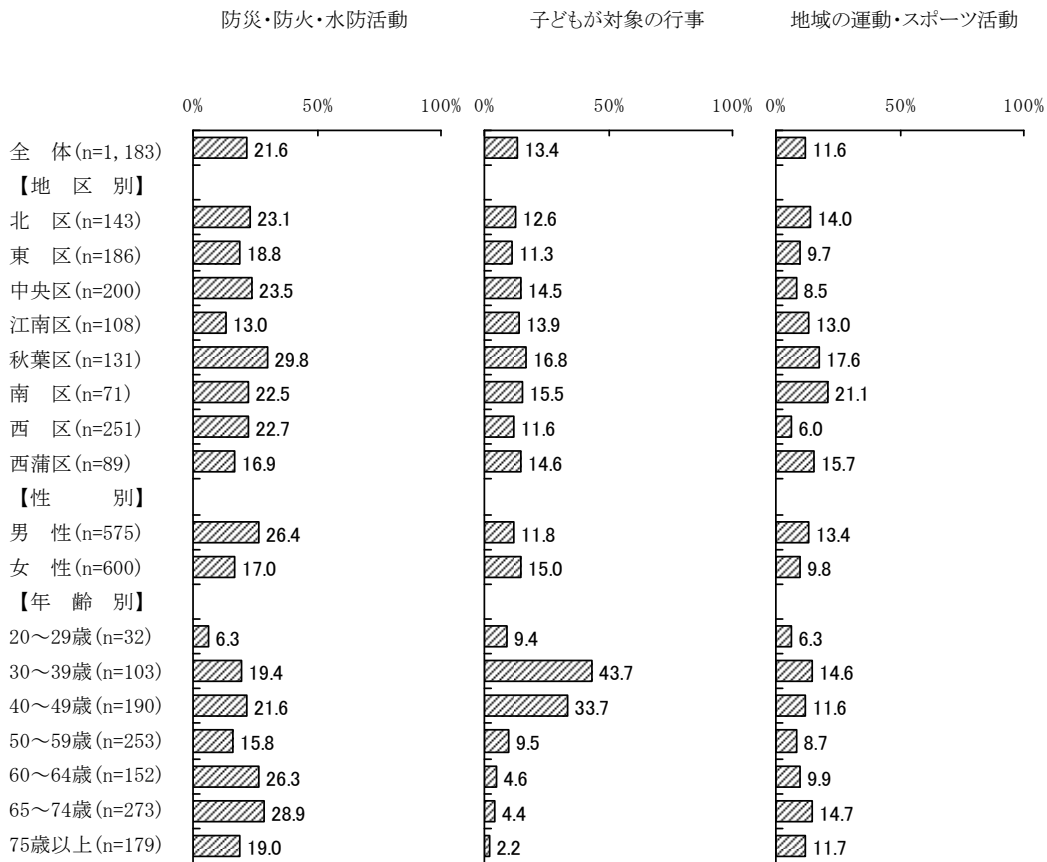
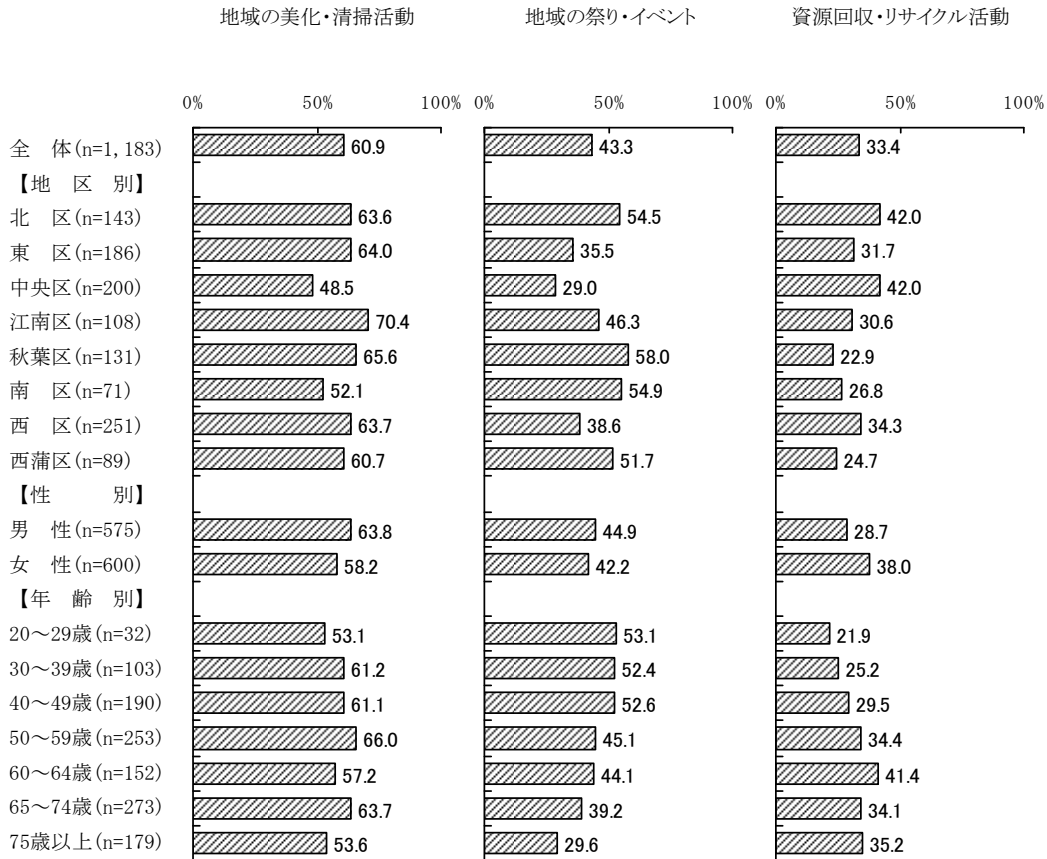
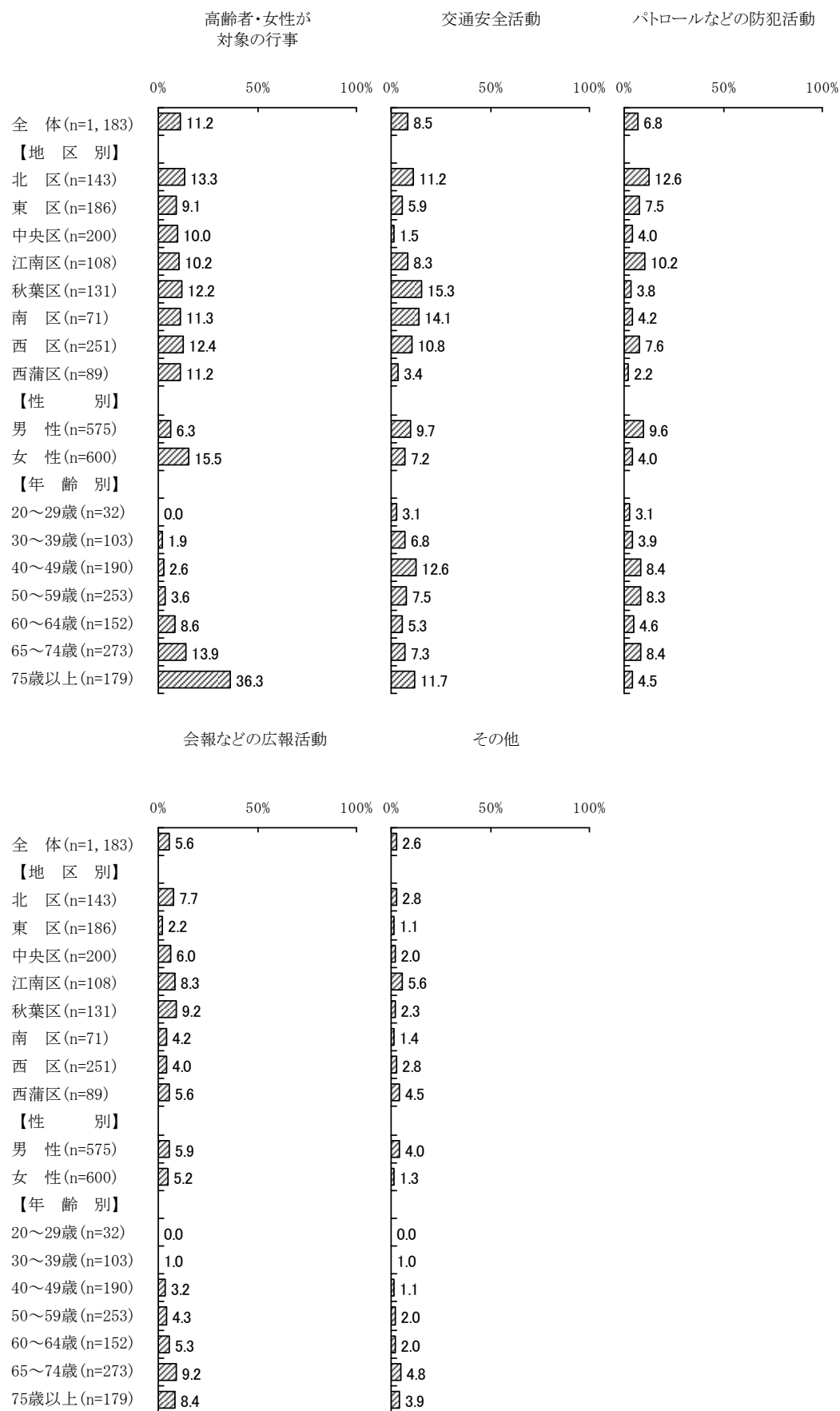
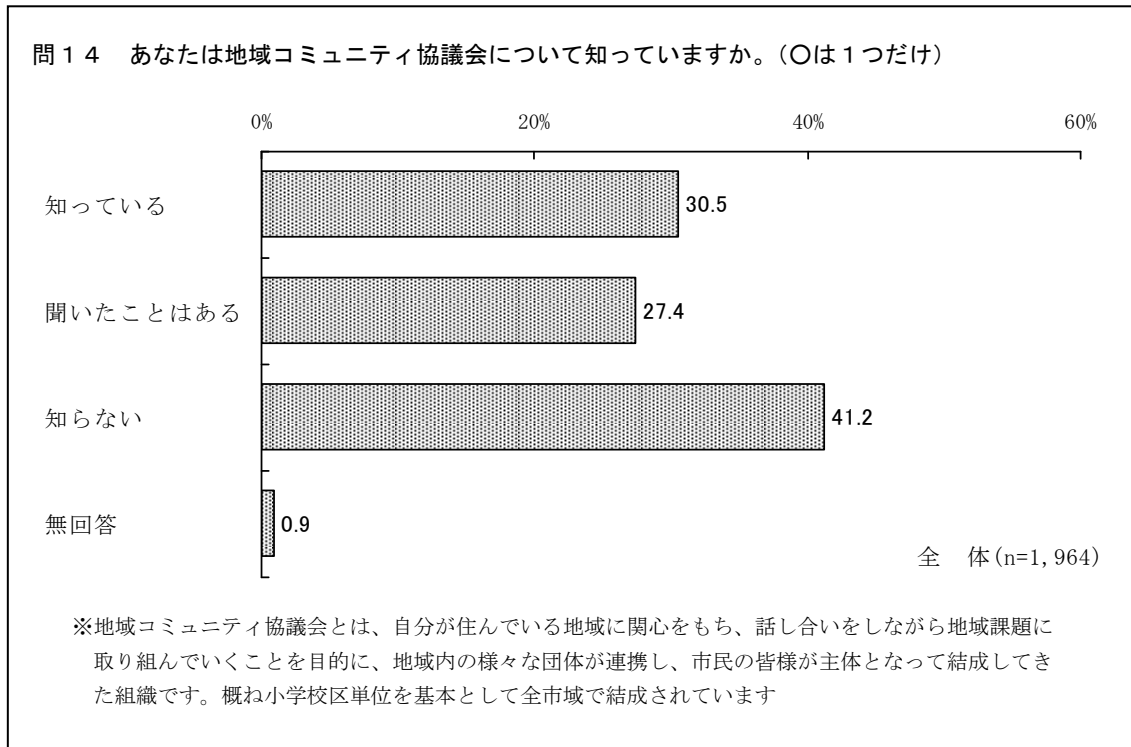


図 1 - 6 現在参加、または今後参加したい「地域の活動」(地区別/性別/年齢別) 2/2



(7) 地域コミュニティ協議会の認知状況



3割が地域コミュニティ協議会を「知っている」

【全体結果】

地域コミュニティ協議会の認知状況については、「知っている」が30.5%、「聞いたことはある」が27.4%となっている。

一方で、「知らない」が41.2%で4割強となっている。

【属性別結果】(図1-7参照)

①地区別

「知っている」の割合は、秋葉区(48.7%)が最も高く、中央区(21.3%)が最も低くなっている。中央区では「知らない」の割合が高く、5割を超えている。

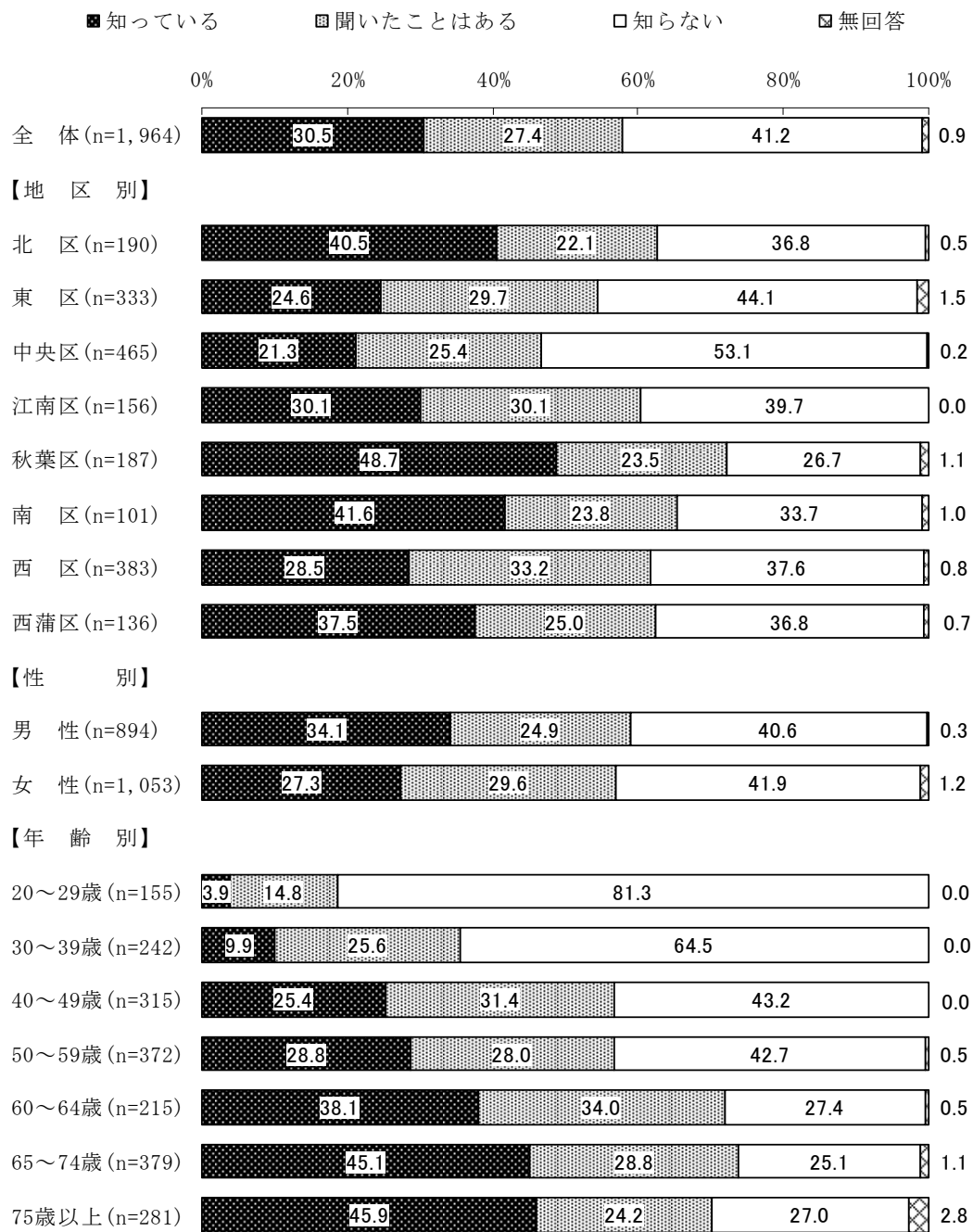
②性別

「知っている」の割合は、男性(34.1%)の方が女性(27.3%)よりも高くなっている。

③年齢別

「知っている」の割合は、75歳以上(45.9%)が最も高く、20代(3.9%)が最も低くなっており、年齢が上がるにつれて、割合が高くなっている。また、20代では、「知らない」の割合が81.3%で、8割強となっている。

図 1-7 地域コミュニティ協議会の認知状況（地区別／性別／年齢別）



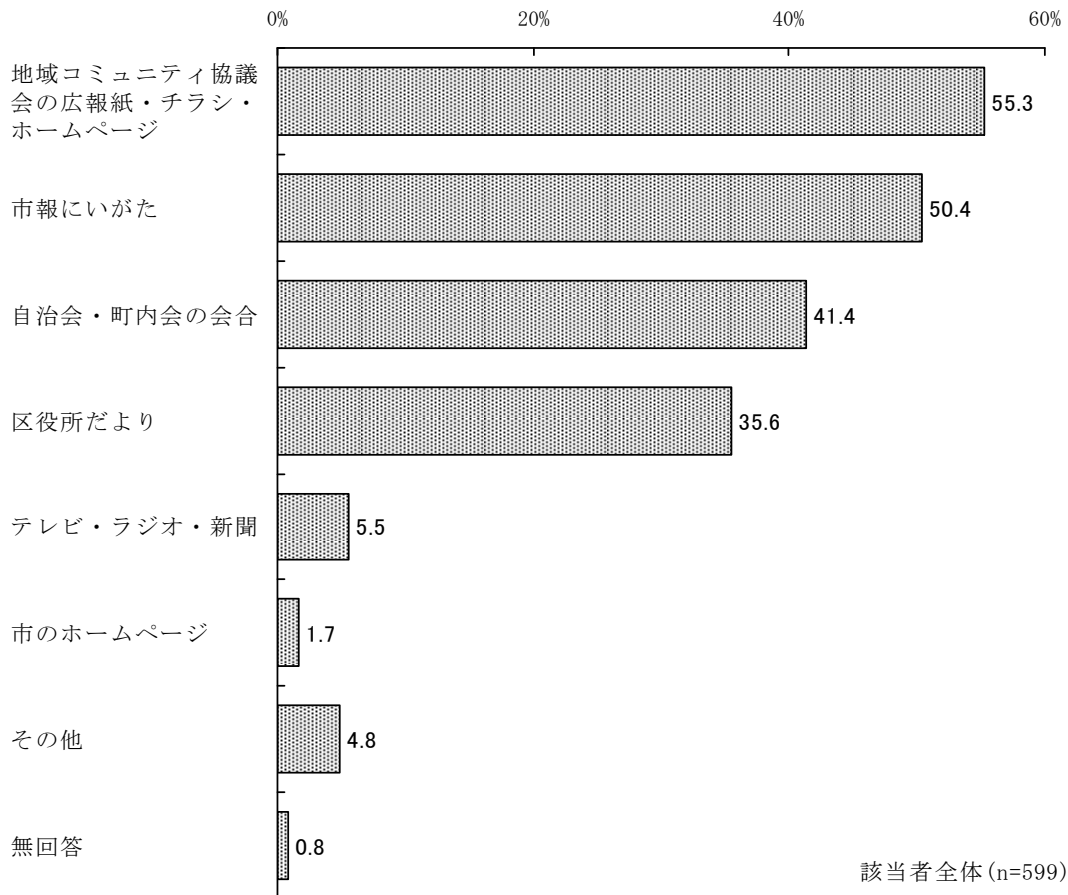
(8) 地域コミュニティ協議会の情報の入手先

(問14で「1」(知っている)と回答した方への該当質問)

問15 地域コミュニティ協議会について知っていると答えた人にお聞きします。

あなたは、地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手していますか。

(〇はいくつでも)



—— 「広報紙・チラシ・ホームページ」からの情報入手が最も多い ——

問14で、地域コミュニティ協議会を「知っている」と回答した599人に対する質問である。

【全体結果】

地域コミュニティ協議会の情報の入手先(複数回答)については、「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」(55.3%)の割合が最も高い。以下、「市報にいがた」(50.4%)が同じく5割台、「自治会・町内会の会合」(41.4%)が4割台、「区役所だより」(35.6%)が3割台で続いている。

【属性別結果】（図 1-8 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」については、南区（71.4%）と北区（70.1%）の割合が高く、東区（42.7%）の割合が最も低くなっている。

「市報にいがた」も割合は、江南区（72.3%）が最も高く、西蒲区（33.3%）が最も低くなっている。

②性別

「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」と「市報にいがた」の割合は、女性の方が男性よりも高く、「自治会・町内会の会合」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

③年齢別

「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」は20代（66.7%）が、「市報にいがた」は30代（62.5%）が、「自治会・町内会の会合」は65～74歳（50.3%）が、それぞれ割合が最も高くなっている。

図 1-8 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別／性別／年齢別） 1/2

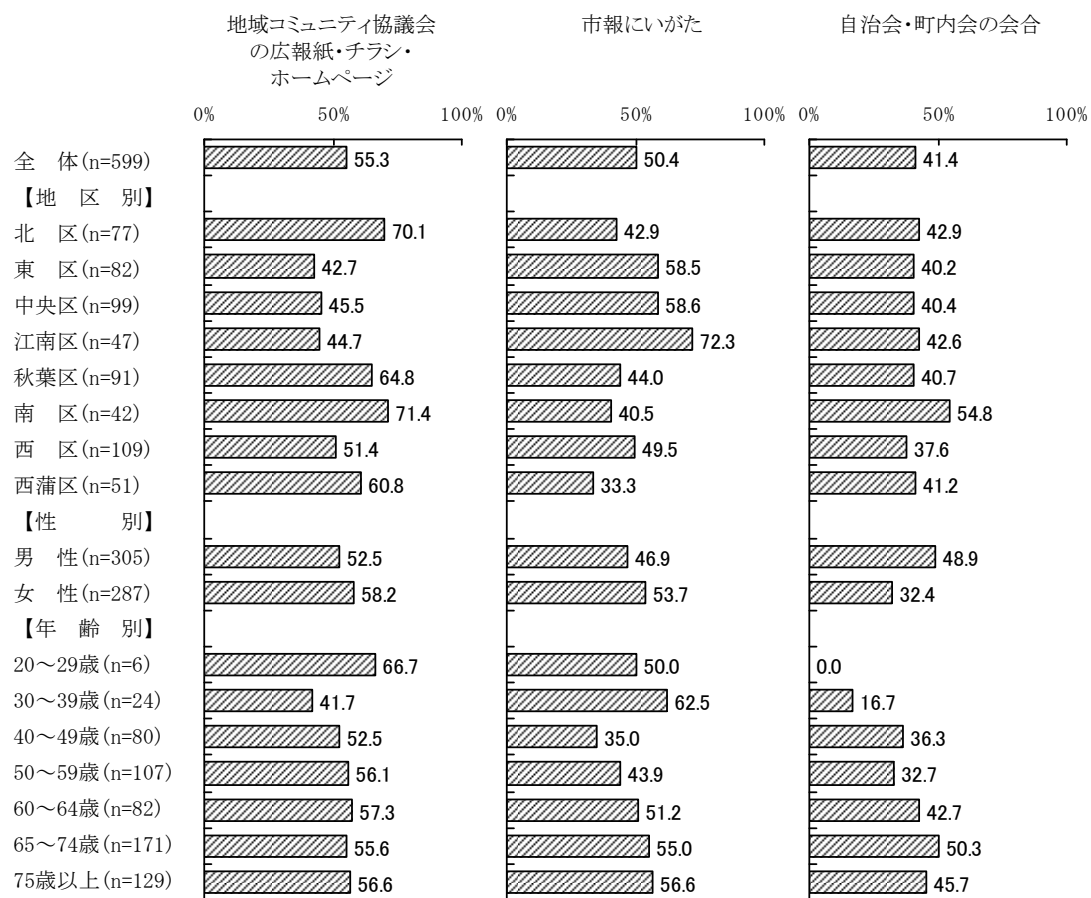
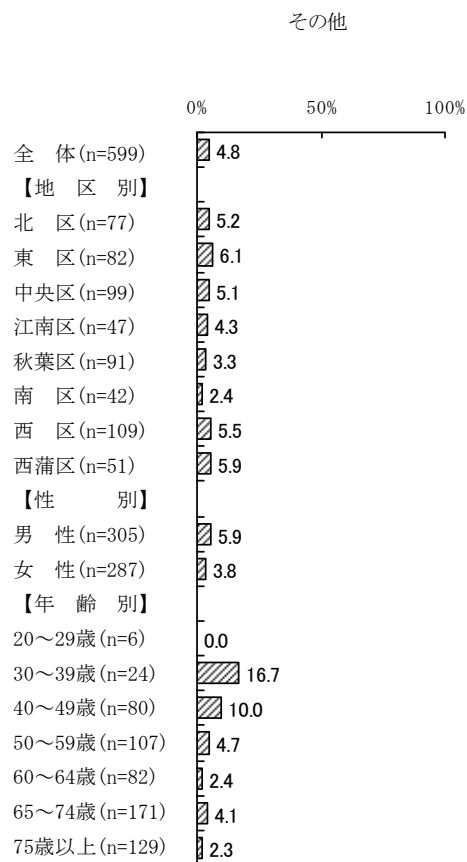
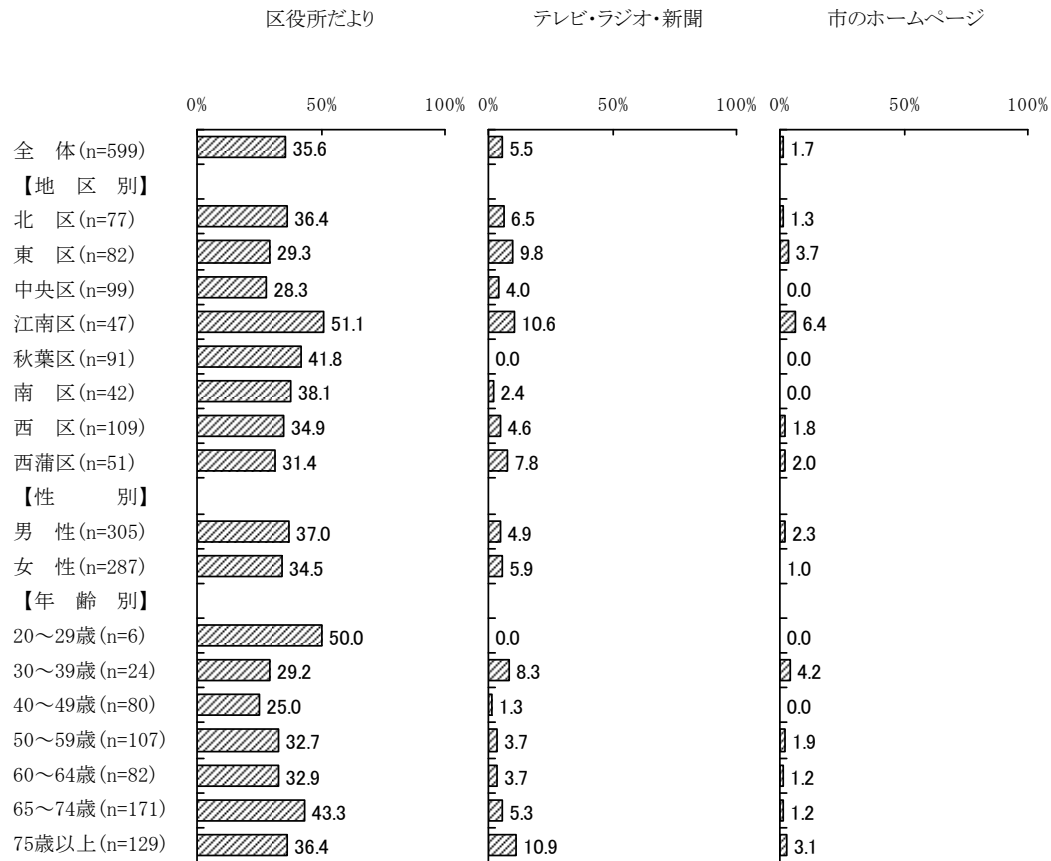
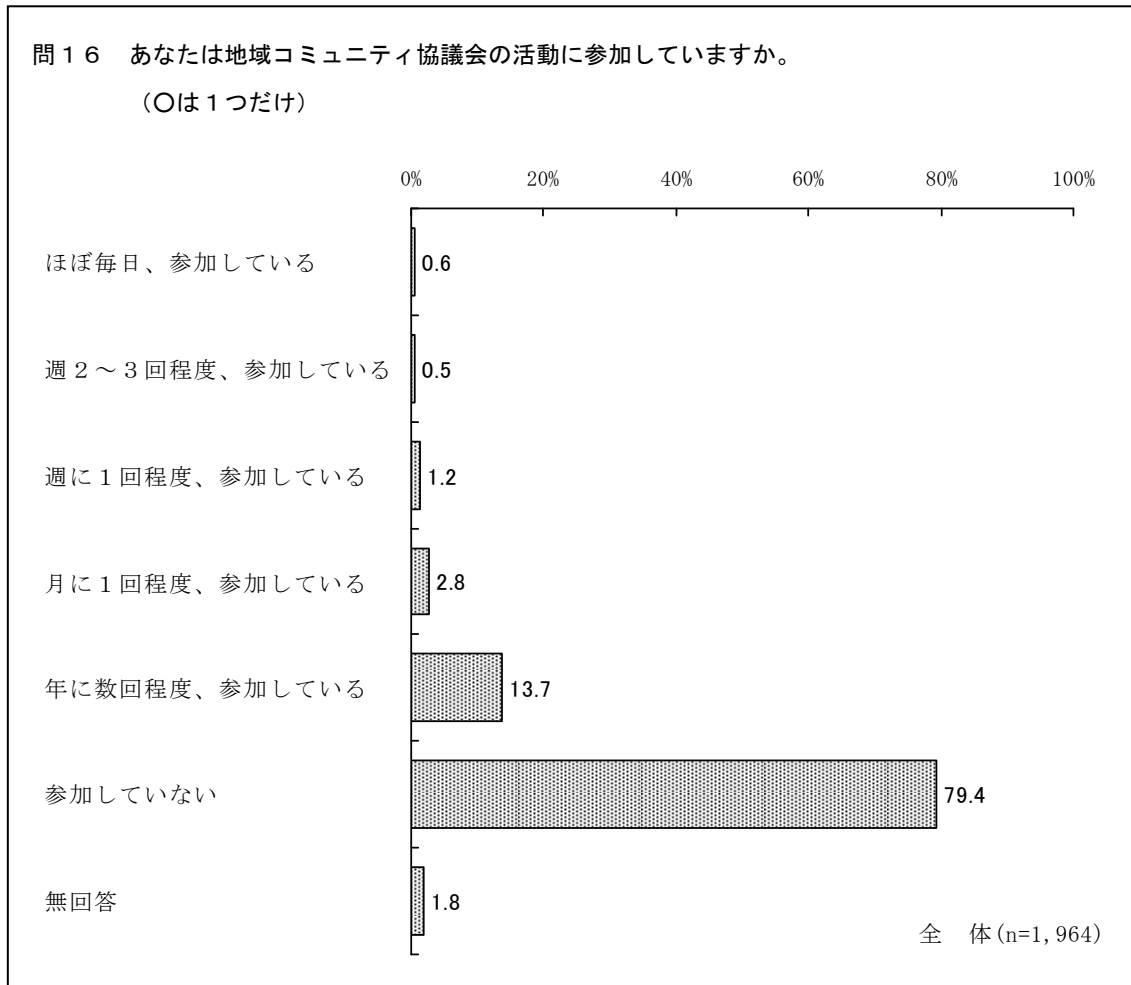


図1-8 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別／性別／年齢別） 2/2



(9) 地域コミュニティ協議会の活動への参加状況



—— 約8割が地域コミュニティ協議会の活動に「参加していない」 ——

【全体結果】

地域コミュニティ協議会の活動への参加状況については、「年に数回程度、参加している」(13.7%)の割合が最も高くなっているが、1割強にすぎない。一方で、「参加していない」は79.4%で、約8割となっている。

【属性別結果】（図 1-9 参照）

①地区別

いずれの地区も「参加していない」の割合が高く、中央区（88.2%）では9割弱となっている。

「年に数回程度、参加している」の割合は、南区（34.7%）が最も高く、中央区（8.4%）が最も低くなっている。

②性別

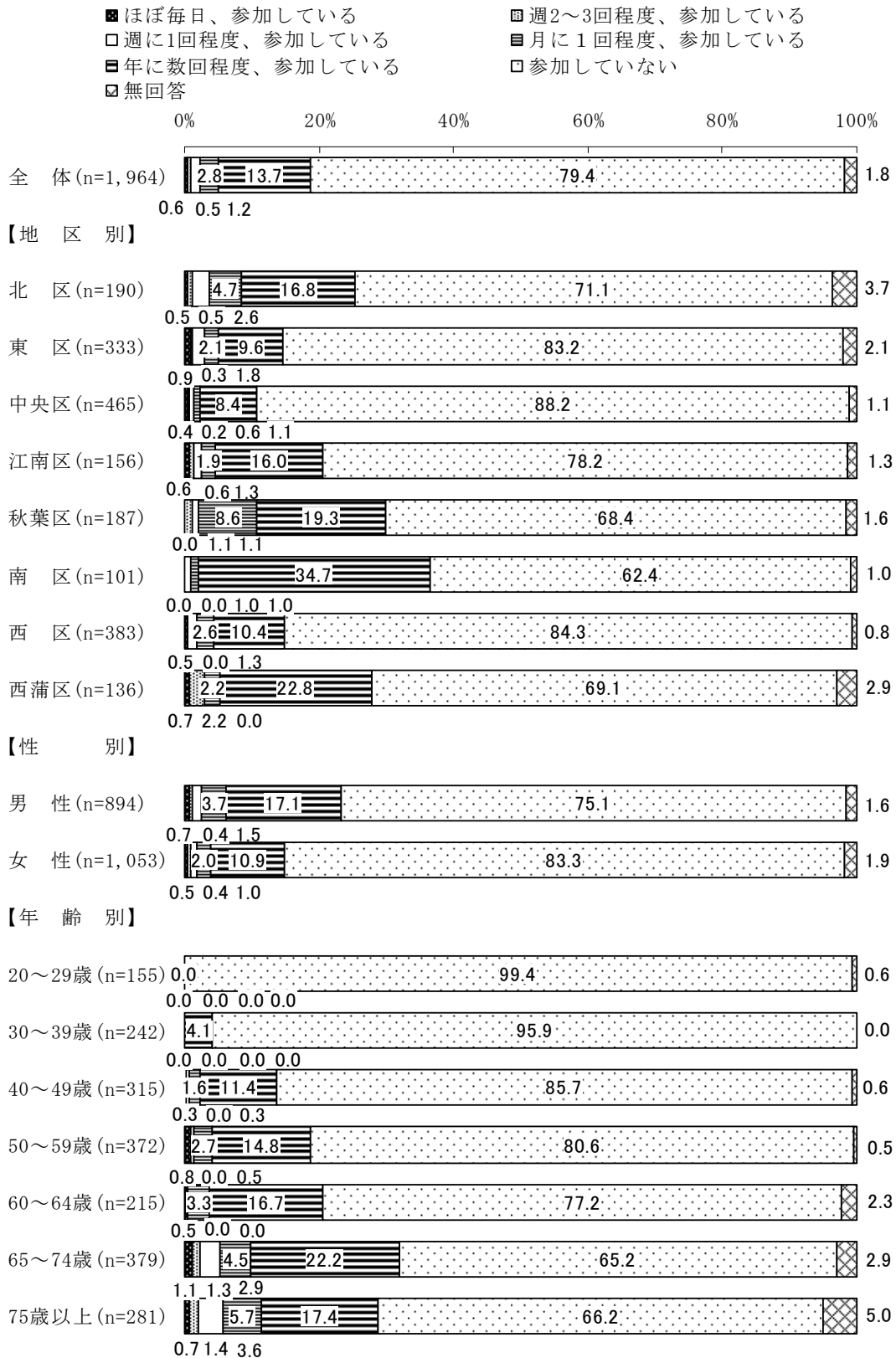
「参加していない」の割合は、女性（83.3%）の方が男性（75.1%）よりも高く、「年に数回程度、参加している」の割合は、男性（17.1%）の方が女性（10.9%）よりも高くなっている。

③年齢別

「参加していない」の割合は、20代（99.4%）でとても高くなっている。また、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向がみられる。

「年に数回程度、参加している」の割合は、65～74歳（22.2%）で最も高くなっている。

図1-9 地域コミュニティ協議会の活動への参加の有無（地区別／性別／年齢別）



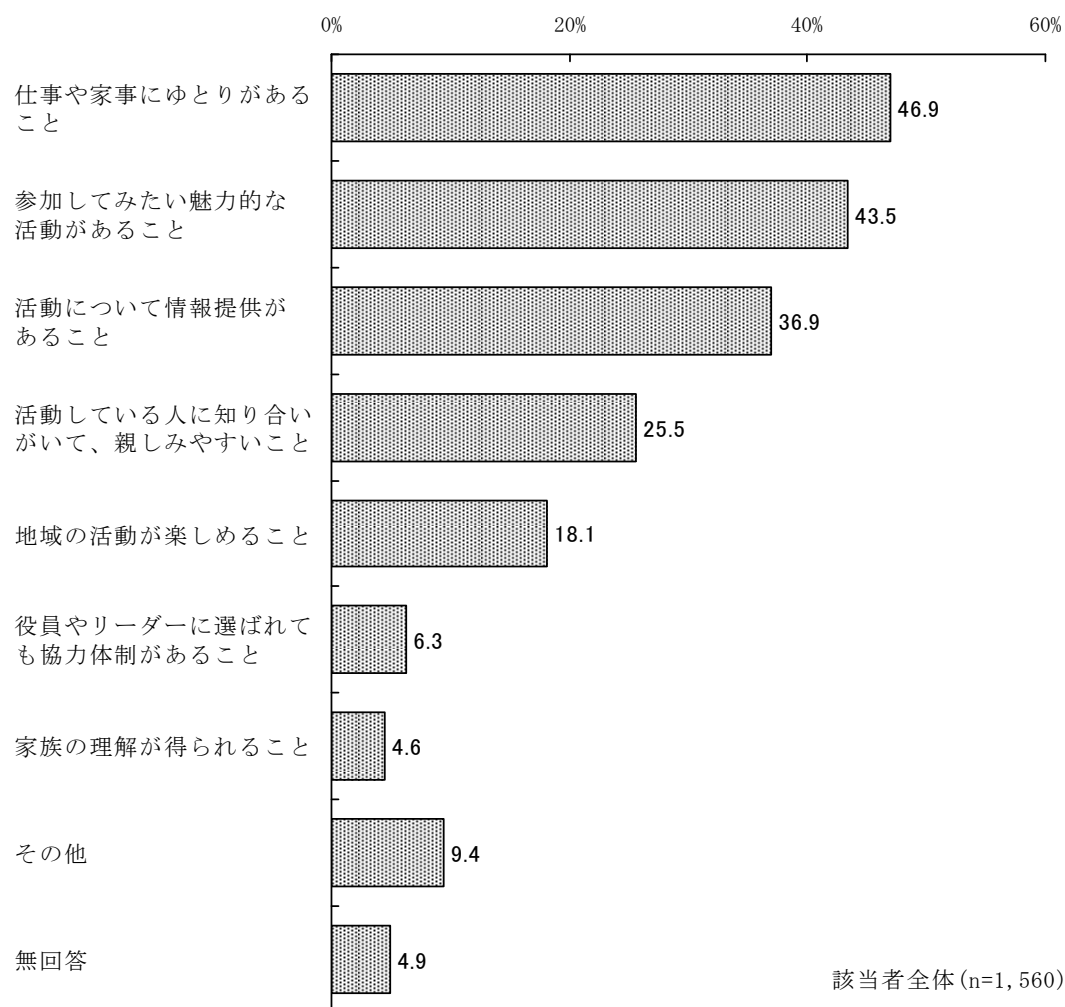
(10) 地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件

(問16で「6」(参加していない)と回答した方への該当質問)

問17 地域コミュニティ協議会の活動に参加していないと答えた人にお聞きます。

あなたが地域コミュニティ協議会の活動に参加するためには何が必要ですか。

(〇は3つまで)



参加条件は「仕事や家事にゆとりがあること」

問16で、地域コミュニティ協議会の活動に「参加していない」と回答した1,560人に対する質問である。

【全体結果】

地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件(複数回答)については、「仕事や家事にゆとりがあること」(46.9%)が最も高くなっている。以下、「参加してみたい魅力的な活動があること」(43.5%)、「活動について情報提供があること」(36.9%)、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」(25.5%)、「地域の活動が楽しめること」(18.1%)の順で続いている。

【属性別結果】（図 1-10 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「仕事や家事にゆとりがあること」については、南区（57.1%）が最も高くなっている。

「参加してみたい魅力的な活動があること」と「活動について情報提供があること」の割合は、西区（それぞれ 48.9%、42.1%）が最も高く、南区（それぞれ 27.0%、22.2%）が最も低くなっている。

②性別

性別では、大きな男女差はみられない。

③年齢別

「仕事や家事にゆとりがあること」は、30代（65.5%）が最も高く、30代以上では、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。「参加してみたい魅力的な活動があること」の割合は、50代（50.0%）が最も高く、「活動について情報提供があること」の割合は30代（45.7%）と20代（45.5%）が高く、75歳以上が最も低くなっている。

図 1-10 地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件（地区別／性別／年齢別）

1/2

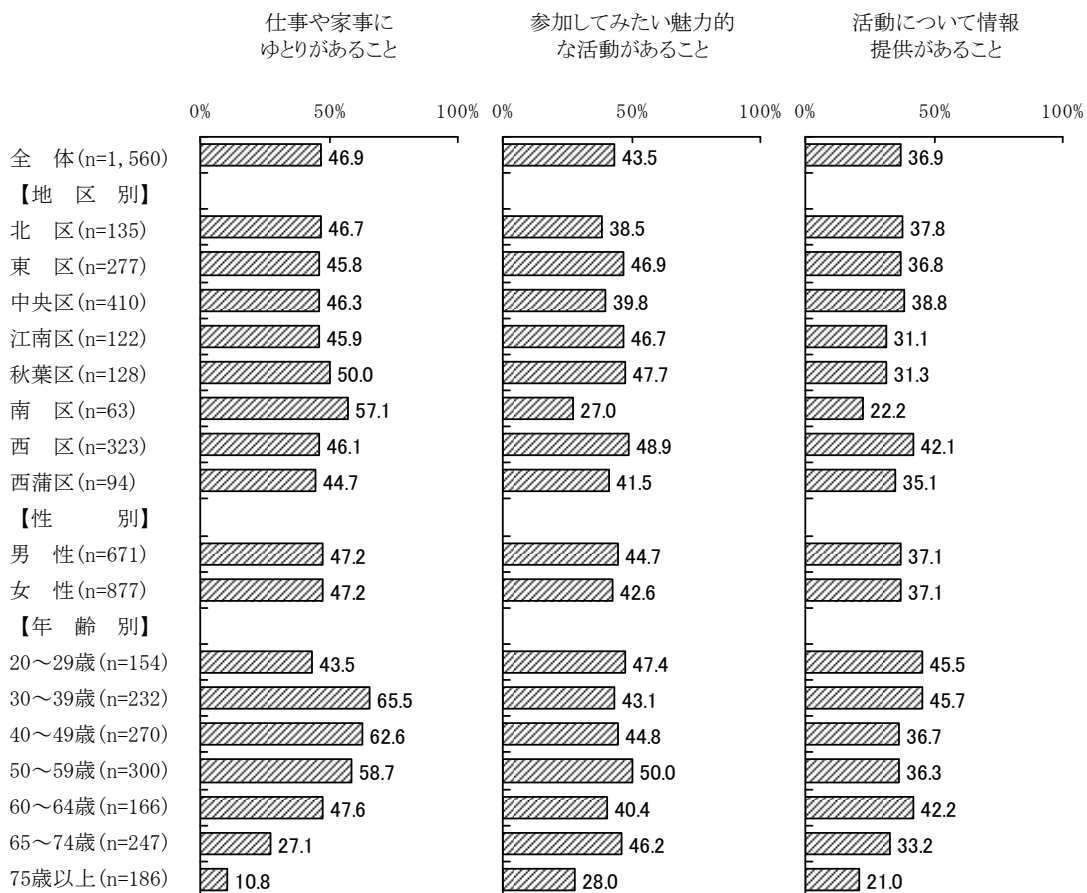
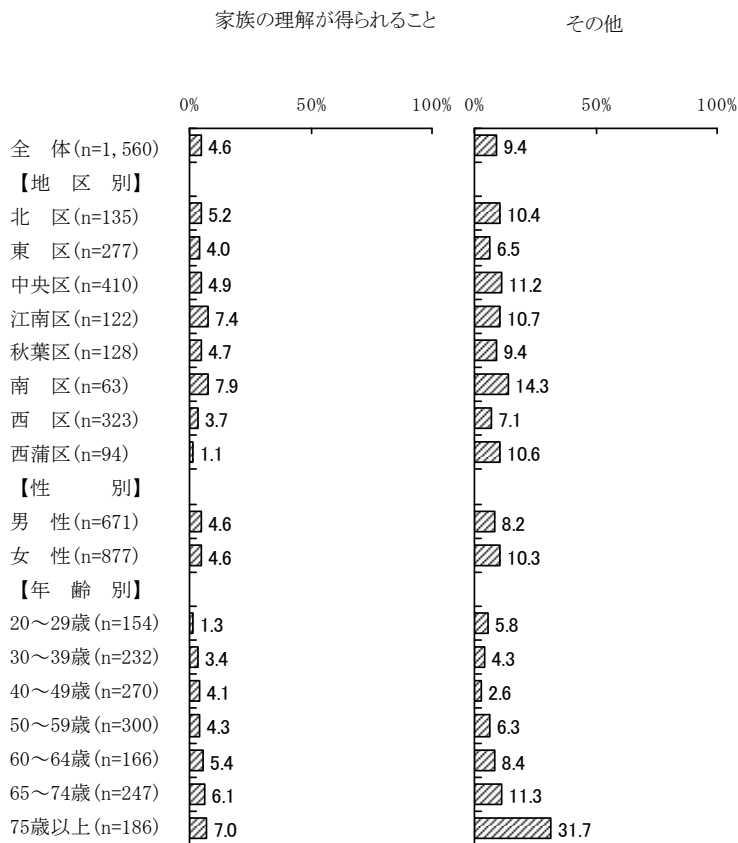
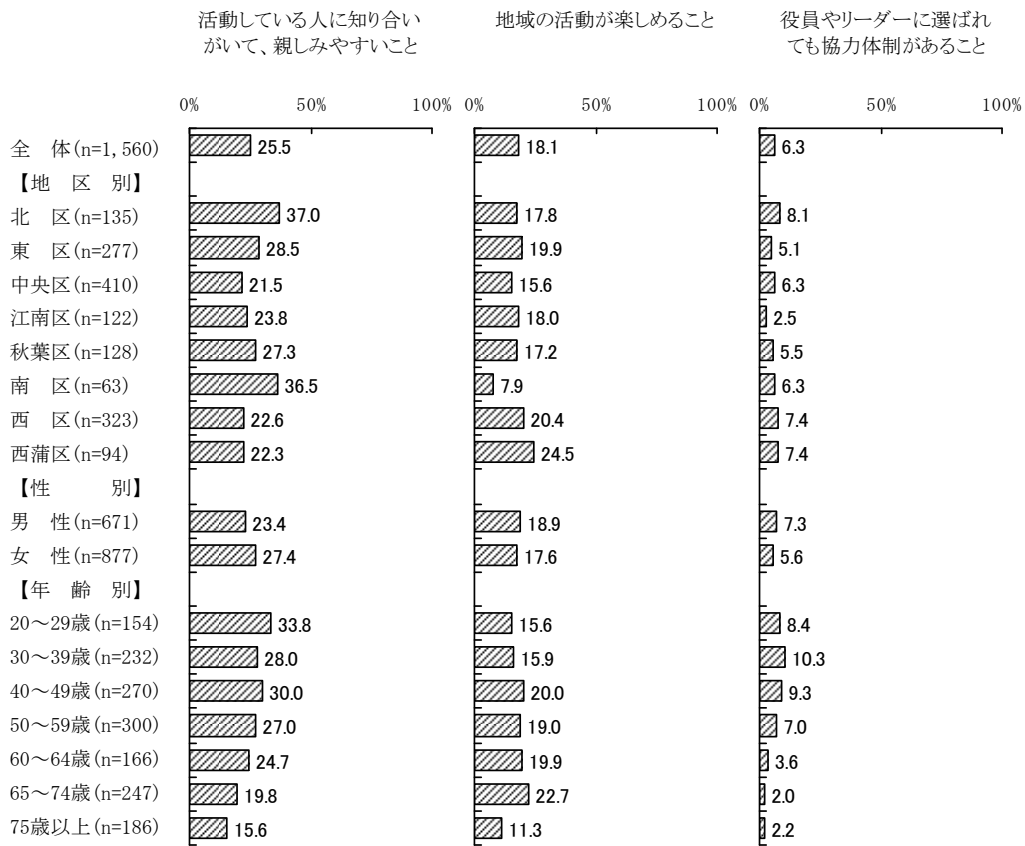
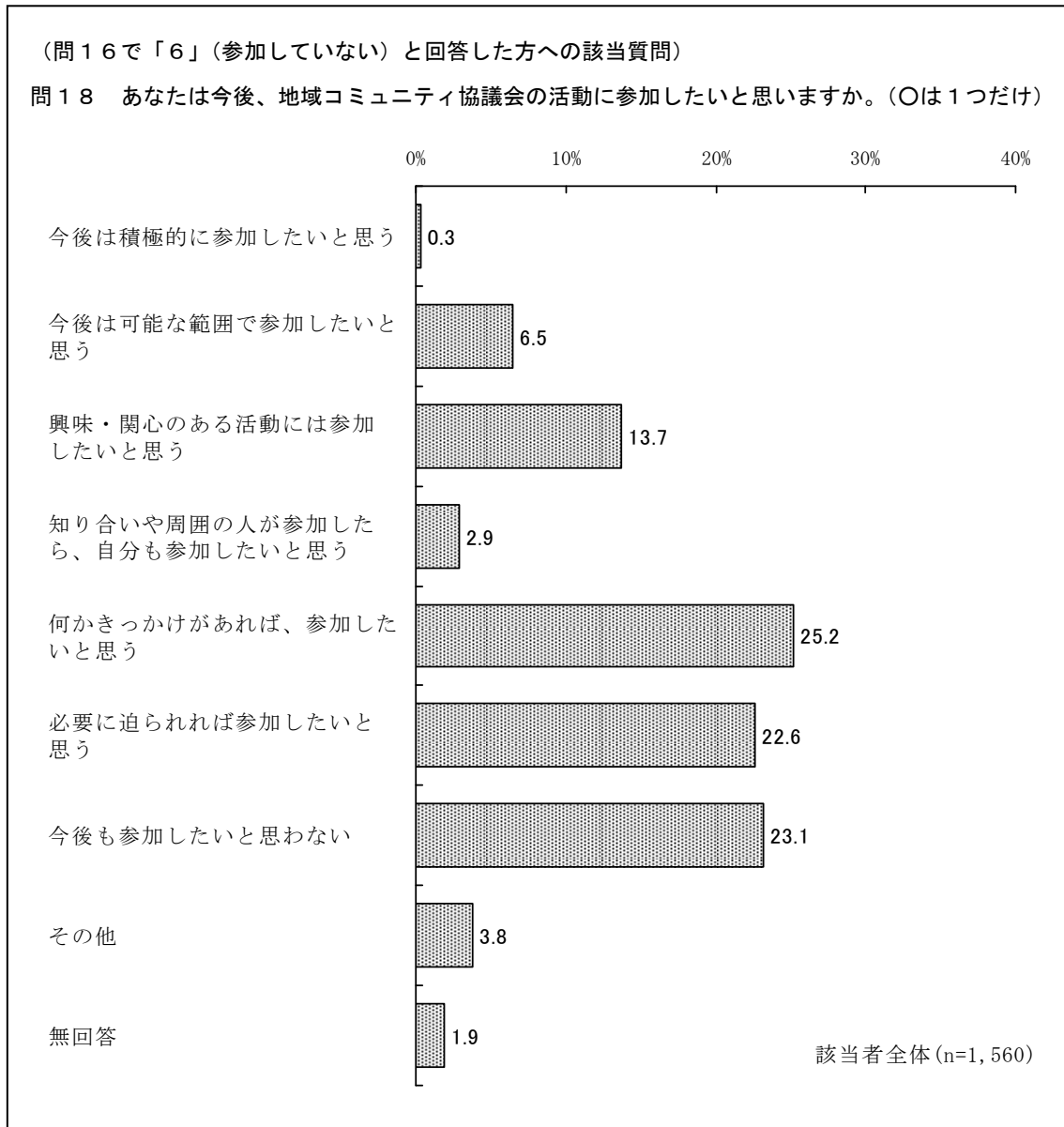


図1-10 地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件（地区別／性別／年齢別）

2/2



(11) 今後の地域コミュニティ協議会の活動への参加意向



「きっかけがあれば参加したい」と考える人が多い

問16で、地域コミュニティ協議会の活動に「参加していない」と回答した1,560人に対する質問である。

【全体結果】

今後の地域コミュニティ協議会の活動への参加意向については、「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」(25.2%)の割合が最も高く、次いで、「必要に迫られれば参加したいと思う」(22.6%)となっている。また、程度に差はあるが参加の意思がある人を合わせた『参加したいと思う』は71.2%で、7割強となっている。

一方で、「今後も参加したいと思わない」は23.1%である。

【属性別結果】（図 1-11 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」については、西区（29.7%）の割合が最も高くなっている。

「必要に迫られれば参加したいと思う」の割合は、中央区（27.1%）が最も高く、「今後は可能な範囲で参加したいと思う」の割合は、南区（14.3%）が最も高くなっている。

②性別

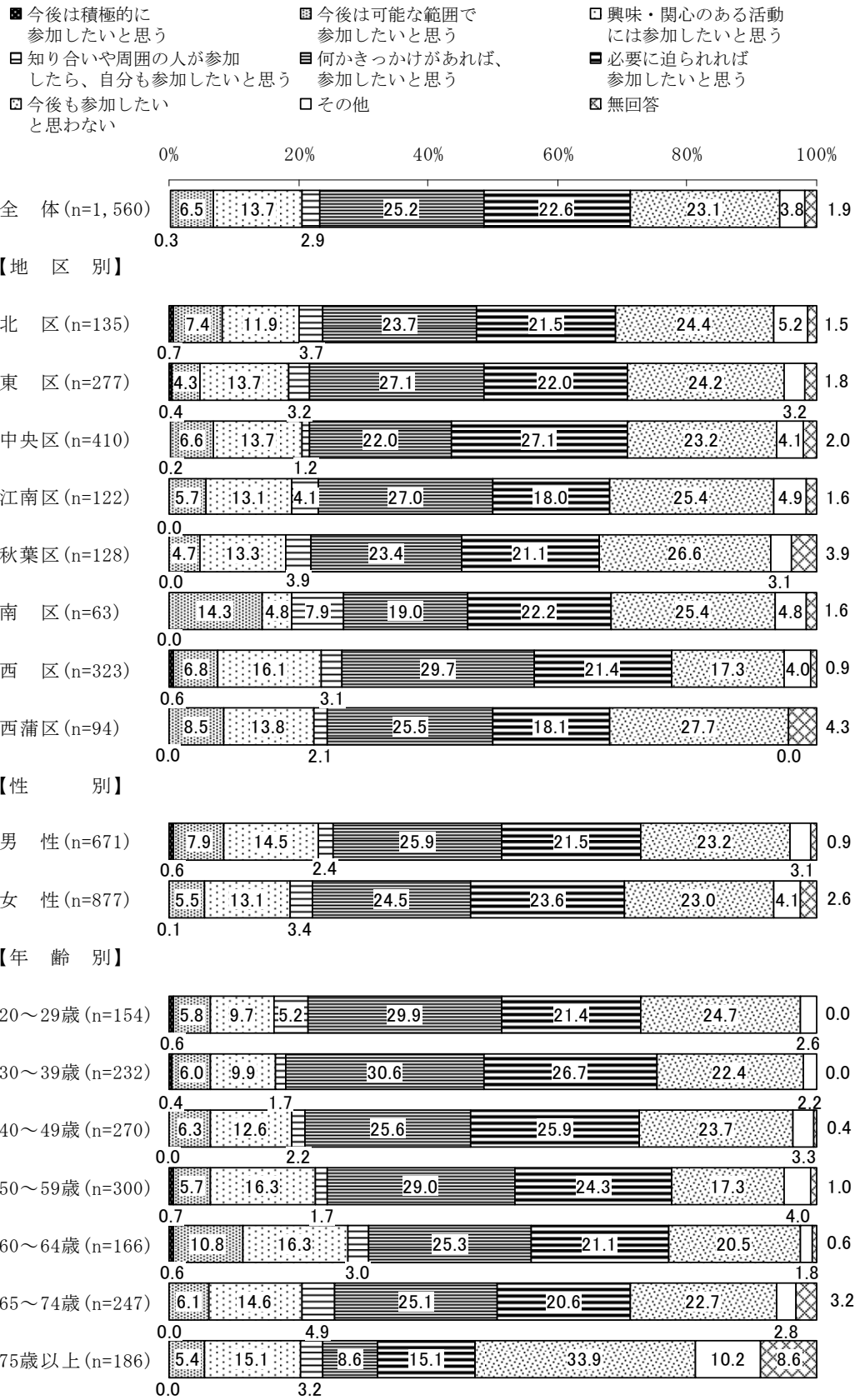
性別では、大きな男女差はみられない。

③年齢別

「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」の割合は、30代（30.6%）が最も高く、75歳以上（8.6%）が最も低くなっている。

「今後も参加したいと思わない」の割合は、75歳以上（33.9%）が最も高く、50代（17.3%）が最も低くなっている。

図1-11 今後の地域コミュニティ協議会の活動への参加意向（地区別／性別／年齢別）



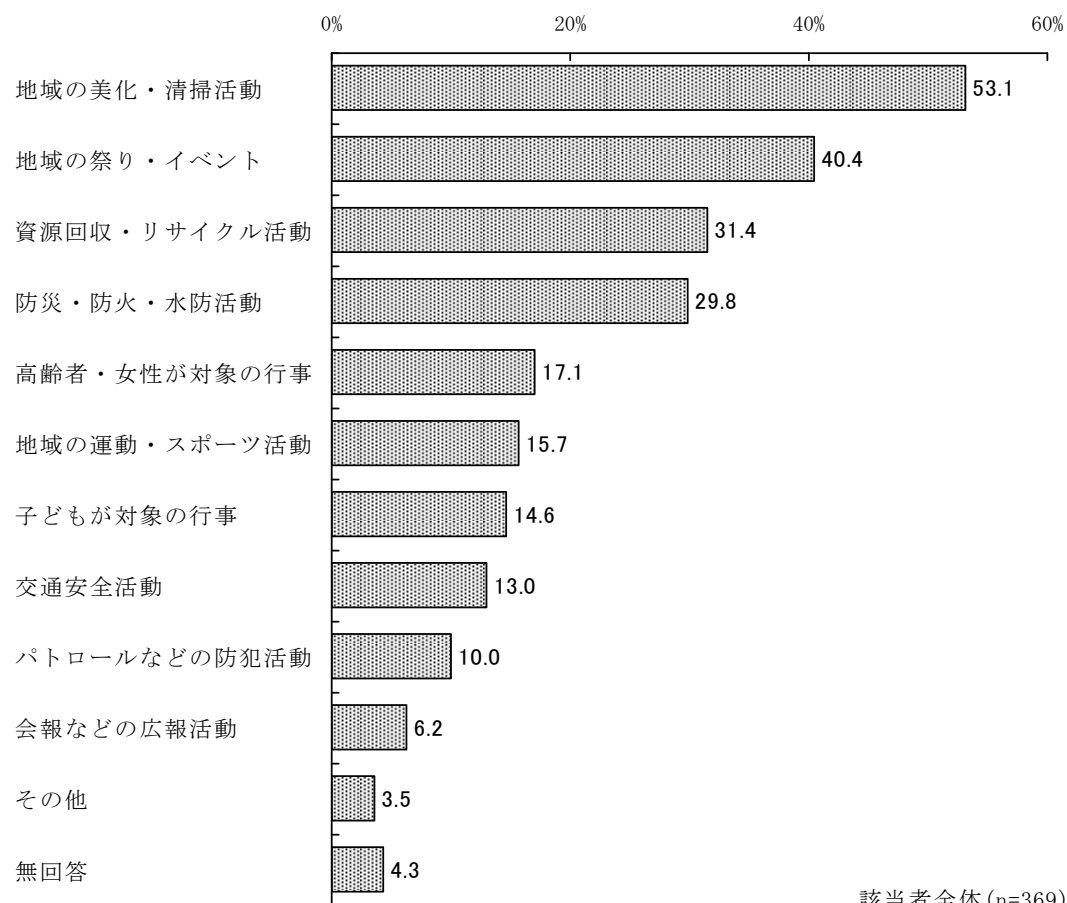
(12) 現在参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動

(問16で「1」「2」「3」「4」「5」(参加している)と回答した方への該当質問)

問19 地域コミュニティ協議会の活動に参加していると答えた人にお聞きます。

あなたはどのような活動に参加していますか、または参加したいですか。

(○はいくつでも)



5割強が「地域の美化・清掃活動」に参加、または参加希望

問16で、地域コミュニティ協議会の活動に「参加している」と回答した369人に対する質問である。

【全体結果】

現在も参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動(複数回答)については、「地域の美化・清掃活動」(53.1%)が最も高くなっている。以下、「地域の祭り・イベント」(40.4%)が4割台、「資源回収・リサイクル活動」(31.4%)、「防災・防火・水防活動」(29.8%)が3割前後で続いている。

【属性別結果】（図 1-12 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域の美化・清掃活動」については、江南区（71.9%）の割合が最も高く、中央区（38.0%）が最も低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、秋葉区（53.6%）が最も高く、中央区（22.0%）が最も低くなっている。「資源回収・リサイクル活動」の割合は、江南区（43.8%）が最も高く、秋葉区（17.9%）が最も低くなっている。

②性別

「地域の美化・清掃活動」、「地域の祭り・イベント」、「防災・防火・水防活動」、「交通安全活動」「パトロールなどの防犯活動」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「資源回収・リサイクル活動」と「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

③年齢別

「地域の美化・清掃活動」の割合は、60～64歳（56.8%）が最も高く、40代（41.9%）が最も低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、30代（60.0%）が最も高く、年齢が上がるにつれて、割合が低くなっている。

「資源回収・リサイクル活動」の割合は、60～64歳（43.2%）が最も高く、40代（16.3%）が最も低くなっている。

「子どもが対象の行事」の割合は、30代（40.0%）と40代（39.5%）が高く、「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、75歳以上（34.6%）が高くなっている。

図1-12 現在参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動
 (地区別/性別/年齢別) 1/2

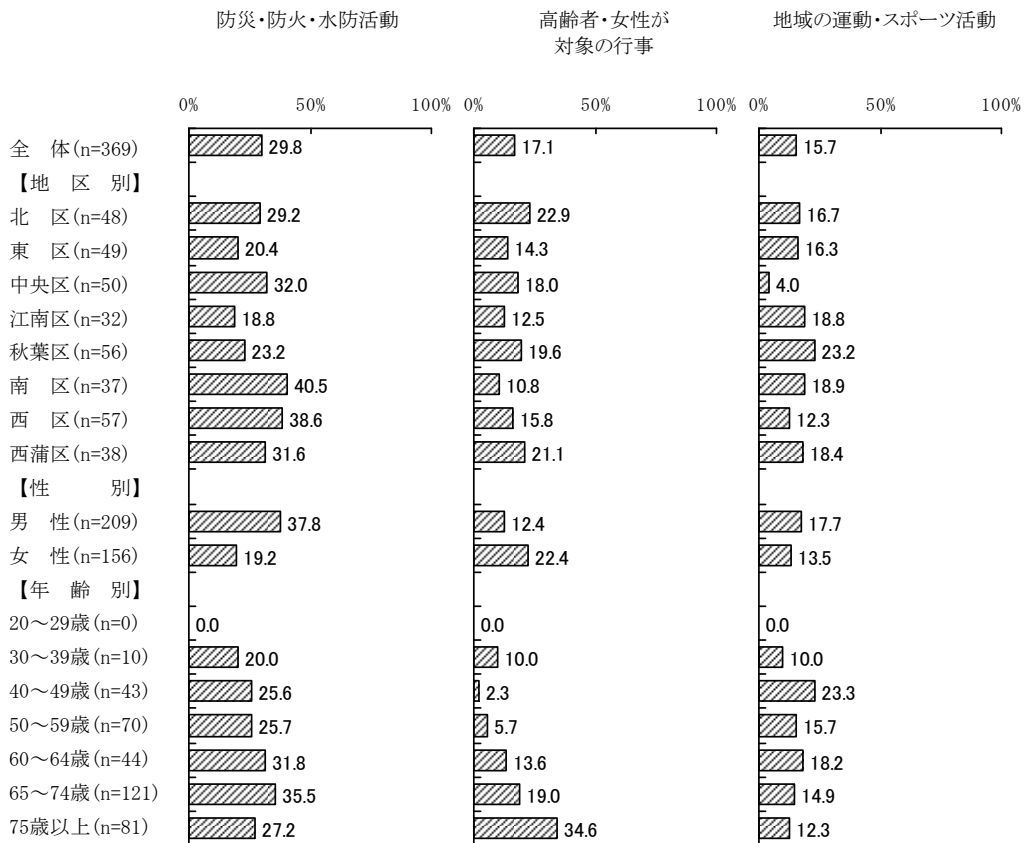
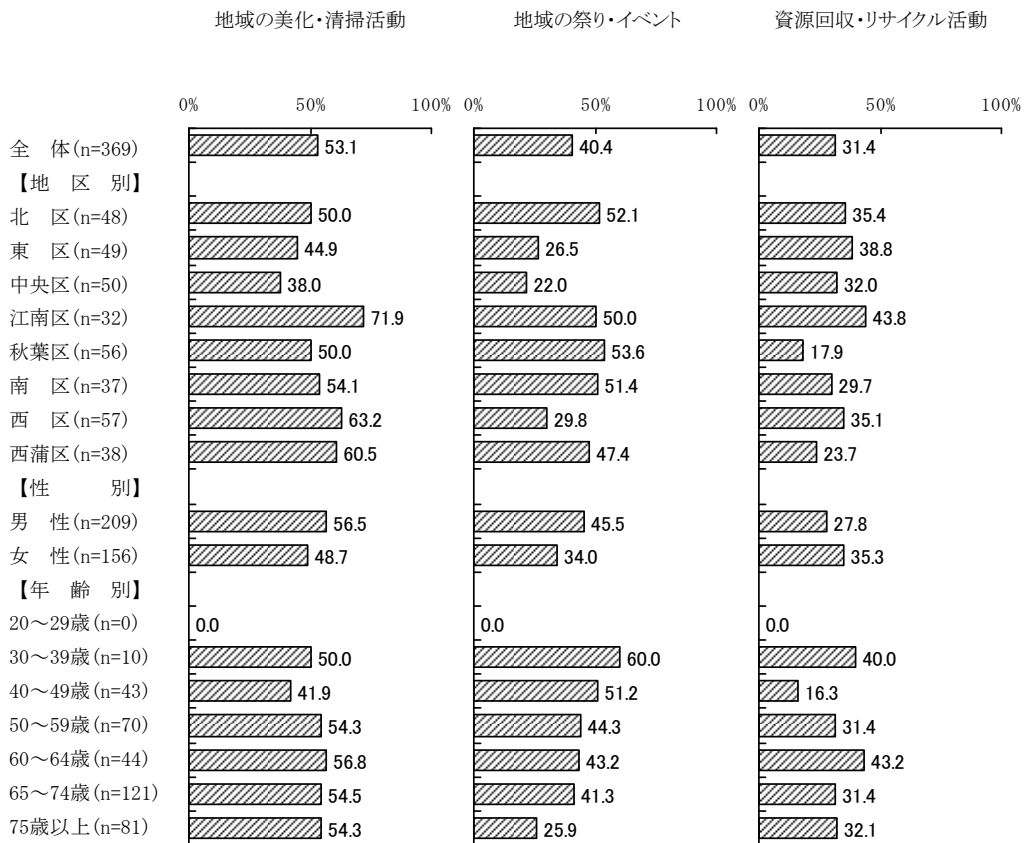
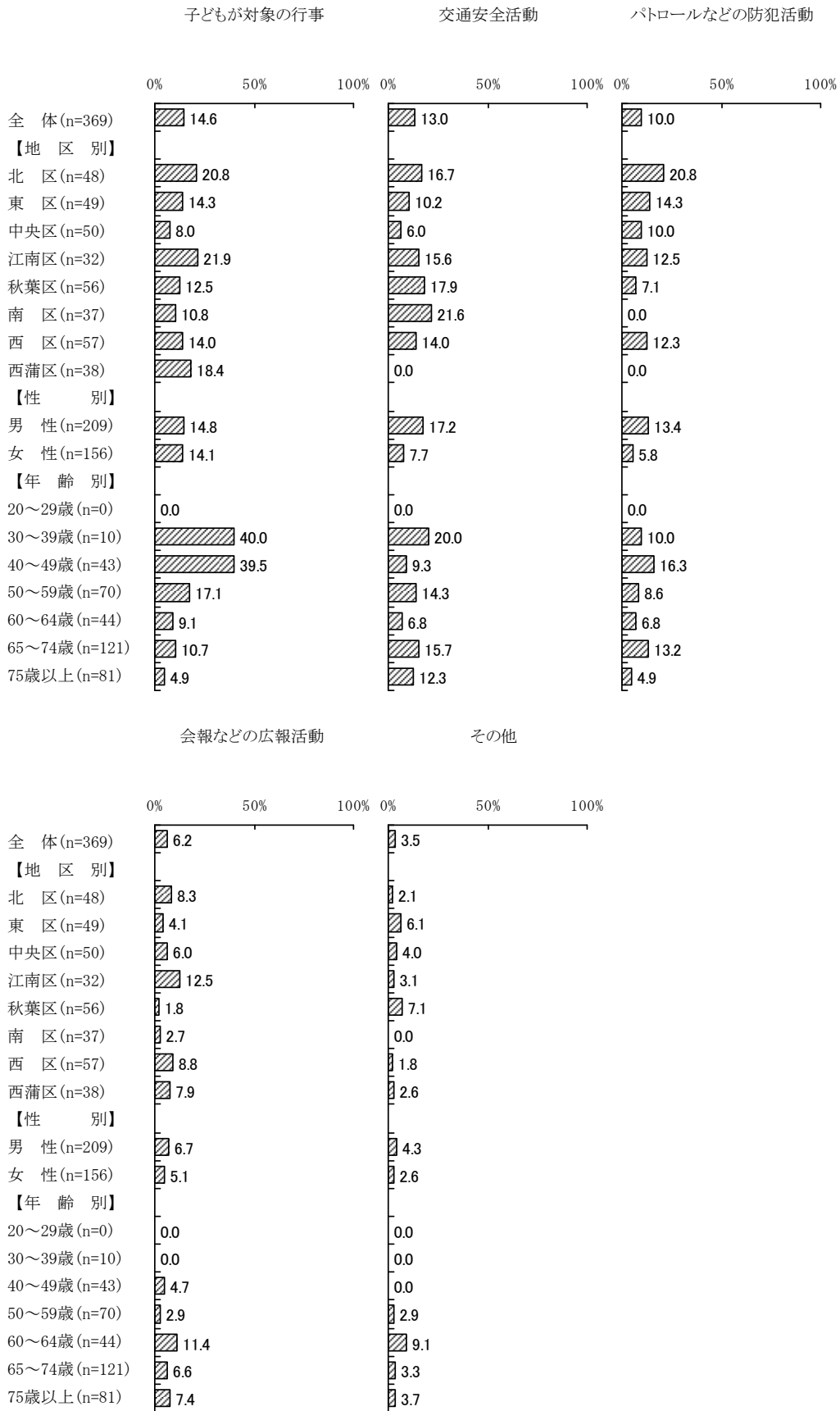
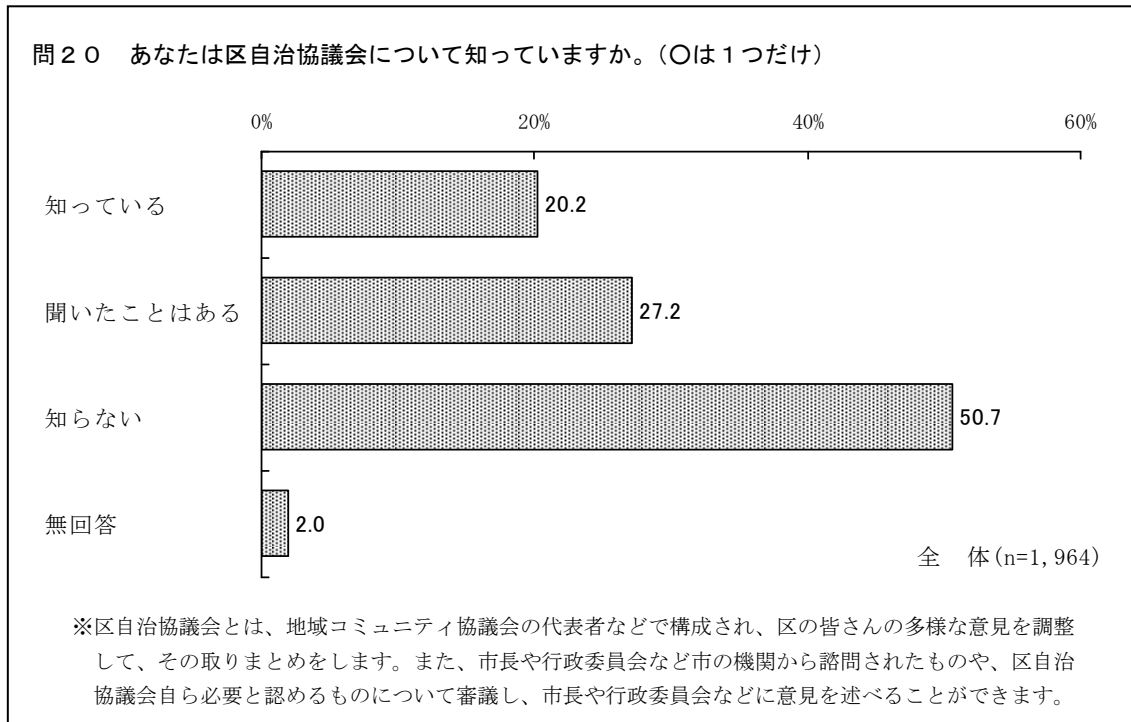


図1-12 現在参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動
(地区別/性別/年齢別) 2/2



(13) 区自治協議会の認知状況



2割が区自治協議会を「知っている」

【全体結果】

区自治協議会の認知状況については、「知っている」が20.2%、「聞いたことはある」が27.2%となっている。

一方で、「知らない」が50.7%で5割となっている。

【属性別結果】(図1-13参照)

①地区別

「知っている」の割合は、南区(29.7%)と秋葉区(28.9%)が高く、中央区(11.0%)が最も低くなっている。中央区では「知らない」の割合が高く、6割を超えている。

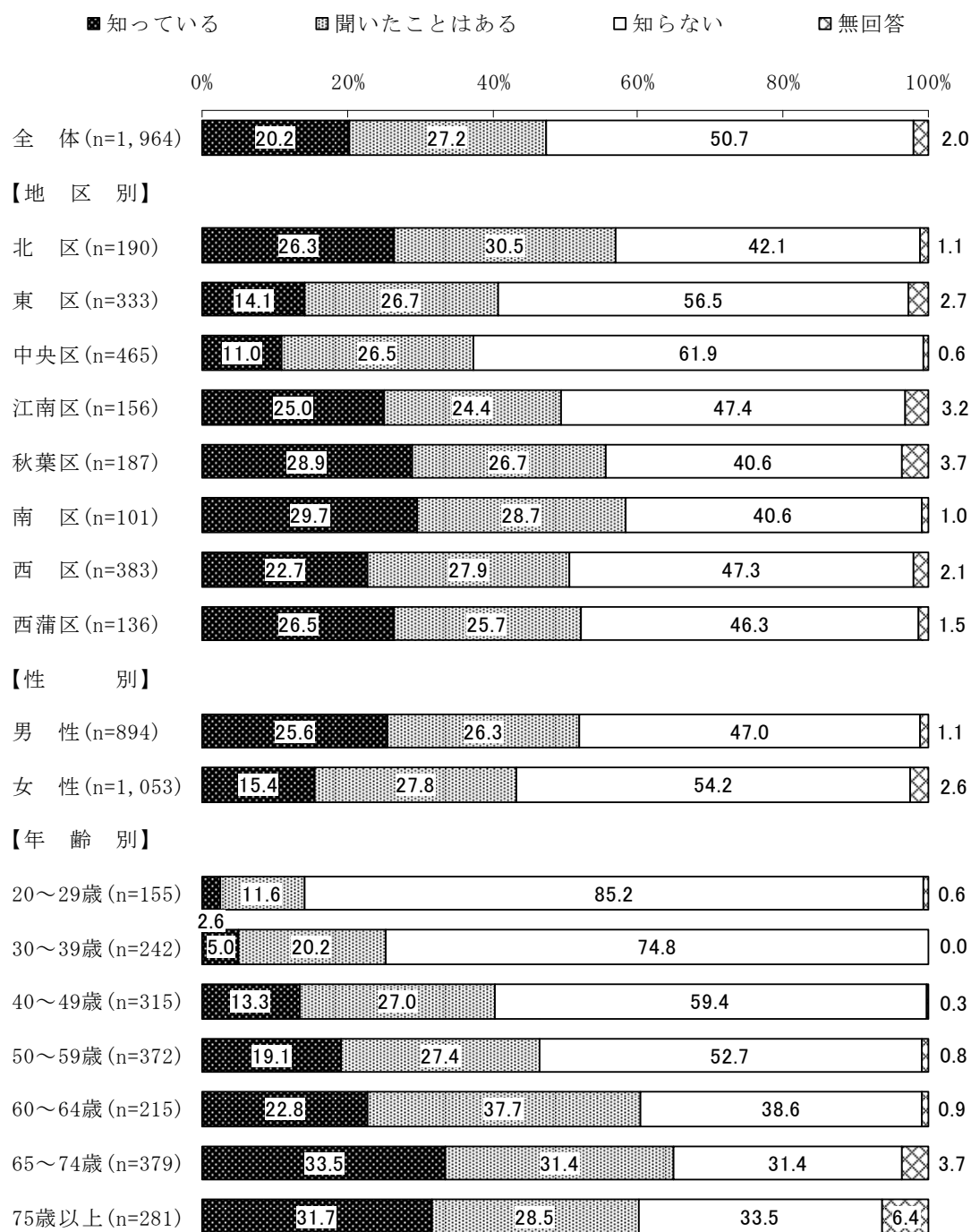
②性別

「知っている」の割合は、男性(25.6%)の方が女性(15.4%)よりも高くなっている。

③年齢別

「知っている」の割合は、65~74歳(33.5%)と75歳以上(31.7%)が高く、20代(2.6%)と30代(5.0%)が低くなっている。また、20代では、「知らない」の割合が85.2%で、8割を超えている。

図 1-13 区自治協議会の認知状況（地区別／性別／年齢別）



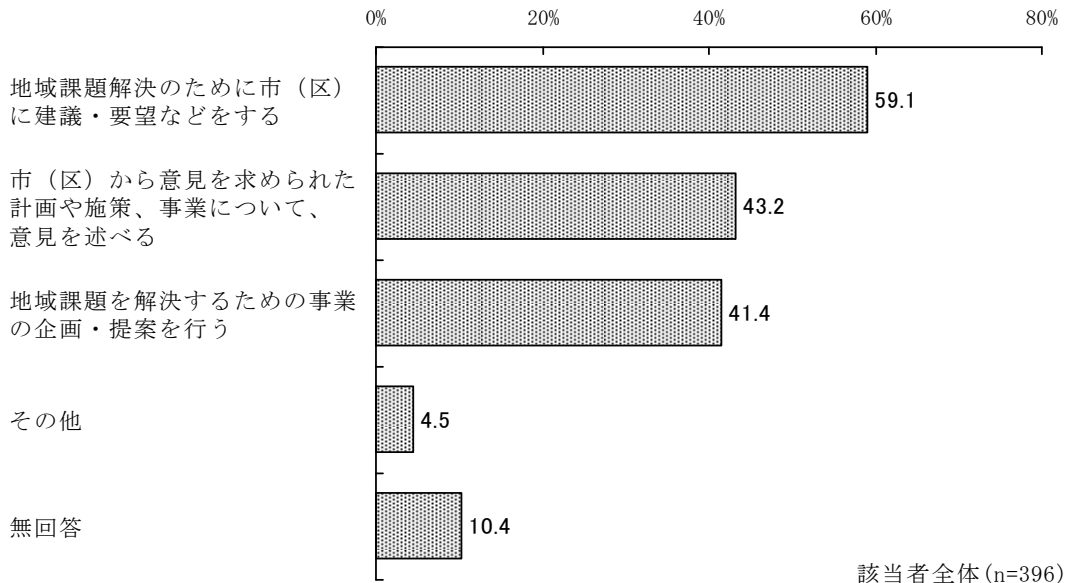
(14) 区自治協議会の役割や活動で知っていること

(問20で「1」(知っている)と回答した方への該当質問)

問21 区自治協議会について知っているとお答えした人にお聞きします。

あなたは以前から知っている、区自治協議会の役割や活動はどれですか。

(〇はいくつでも)



—— 知っている役割や活動は「市(区)への建議・要望」が最も多い ——

問20で、区自治協議会を「知っている」と回答した396人に対する質問である。

【全体結果】

知っている区自治協議会の役割や活動(複数回答)については、「地域課題解決のために市(区)に建議・要望などをする」(59.1%)の割合が最も高くなっている。以下、「市(区)から意見を求められた計画や施策、事業について、意見を述べる」(43.2%)、「地域課題を解決するための事業の企画・提案を行う」(41.4%)の順となっている。

【属性別結果】（図 1-14 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域課題解決のために市（区）に建議・要望などをする」については、西蒲区（66.7%）の割合が最も高く、中央区（51.0%）と秋葉区（51.9%）の割合が低くなっている。

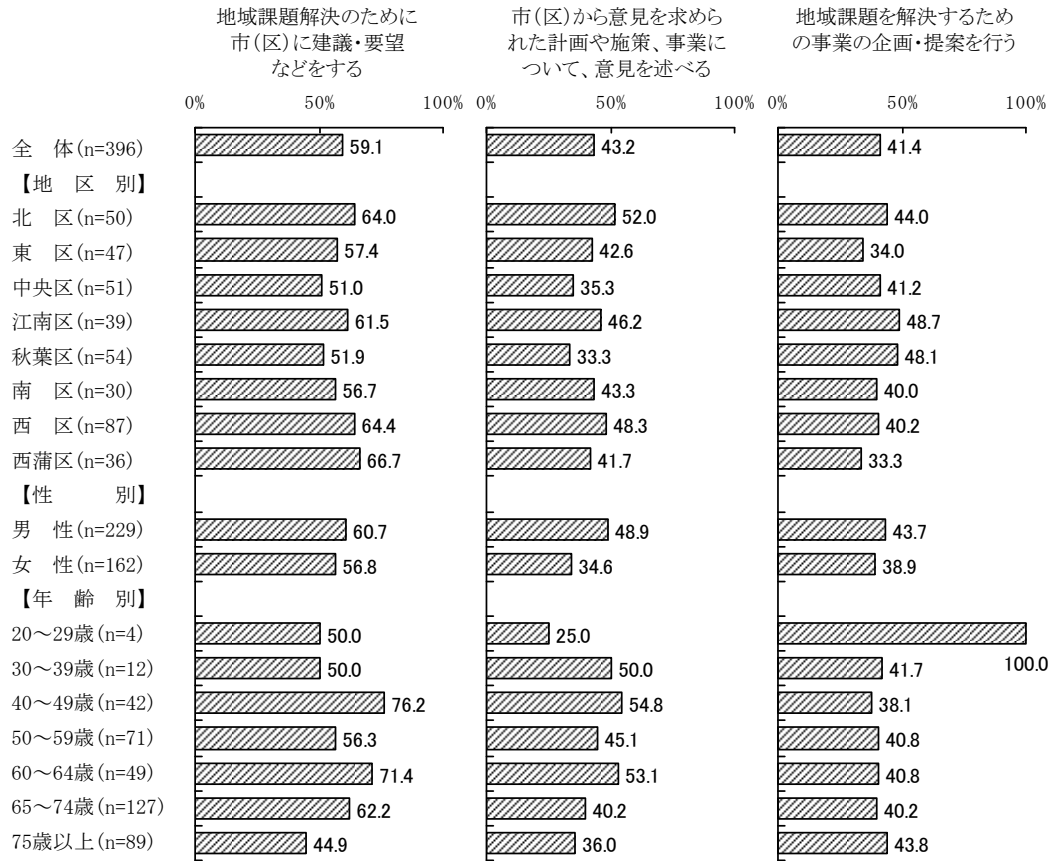
②性別

いずれの項目も、男性の方が女性よりも割合が高くなっている。

③年齢別

「地域課題解決のために市（区）に建議・要望などをする」の割合は、40代（76.2%）が最も高く、75歳以上（44.9%）が最も低くなっている。

図1-14 区自治協議会の役割や活動で知っていること（地区別／性別／年齢別）



その他

